

1. 件名：「志賀原子力発電所2号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（53）」

2. 日時：令和4年3月14日（月）13時30分～16時00分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官※、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

北陸電力株式会社：小田常務執行役員 他10名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 敷地内断層の活動性評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について 補足資料
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 敷地の地質・地質構造について データ集1（ボーリング柱状図）
- ・ 今後の審査の説明の方針（案）
- ・ 志賀原子力発電所2号炉 適合性審査コメントリスト【敷地の地質・地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	はい、原子力規制庁のカイダです。
0:00:06	今日はですね、志賀原子力発電所 2 号炉、
0:00:10	敷地の地質・地質構造についての資金敷地内断層の活動性評価コメント 評価ということで、
0:00:18	このヒアリングを行いたいと思います。
0:00:21	まずは、北陸電力の方から資料の確認と、
0:00:25	それが終わりましたら説明の方お願いいたします。
0:00:34	はい。北陸電力の吉田です。
0:00:37	本日はよろしくお願いたします。まず私の方からですね資料の確認を させていただきます。
0:00:43	敷地内断層の活動性評価カッココメント回答と書いた、厚い A4 の資料 が、
0:00:49	本日の本資料となります。
0:00:51	もう 1 冊、厚い 4 のものが補足資料。
0:00:55	そして 3 の資料ですね、これデータ集 1 としまして、ボーリング柱状図 となります。
0:01:01	この 3 点が審査資料としてご用意してます。そのほかですね、1 枚もの としてですね金今後の審査の説明の方針案と書いたものがございます。
0:01:11	あとはですね、過去からのコメントの一覧表をお付けしております。
0:01:16	スケジュールの 1 番目につきましては、今日の説明の最後に、説明した いと思い、思います。
0:01:22	それではですね本資料に基づきまして説明いたします時間はですね全体 として約 50 分程度を予定しております。
0:01:30	まず私の方から、目次の前に添付いたしました、今回の説明の概要につ いて、
0:01:36	説明をいたします。3 ページの方、御資料 3 ページご覧ください。
0:01:41	本日の説明の内容でございます。
0:01:44	当社は、敷地内断層の活動性評価につきまして、
0:01:47	昨年 1 月の審査会の、並びに、昨年 11 月の現地調査において説明を行 いました。
0:01:55	その際のコメントを踏まえまして、本年 1 月の審査会合においてデー タ拡充のための追加調査の計画を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:02	説明しております。本日は、追加調査の結果を、に加えて、これまで取得しましたデータを含めて、
0:02:11	審査会合及び現地調査でのコメントへの回答について説明を行うものでございます。
0:02:18	それでは次、ですね4ページ5ページ、後程説明しますので飛ばしていただいて6ページと7ページ。
0:02:26	ちょっと見開きをご覧ください。
0:02:28	江本の追加調査の全体像について。
0:02:31	このページでまとめております。6ページの方にはですね、追加調査の、
0:02:36	各項目ごとの目的であったり内容、そして結果、あと記載のページですね、それを整理しております。7ページの方には、各調査の位置図を示しております。
0:02:49	この詳細な内容につきましては、御社の中で説明いたしますが、
0:02:54	ここで次の①ですね、表の一番上の①鉱物脈の追加観察というのと、
0:03:01	一番下の5番ですね、S4トレンチの追加掘削、この二つにつきましては、
0:03:06	敷地内断層の活動性評価におきまして、重要な追加調査に、
0:03:12	位置付けておりますので、私の方からこの結果の概要につきまして簡単に紹介させていただきます。
0:03:18	1枚めくって8ページの方。
0:03:21	ご覧ください。
0:03:22	これは鉱物脈法としての、薄片の追加観察の結果の概要であります。
0:03:29	現地調査にですね、出した時に薄片を、詳細に観察をいただきましたが、
0:03:35	その中で、断層の最新面が不明瞭で、鉱物脈が明瞭に横断しているように見えないと、ご指摘を受けたデータが五つ。
0:03:45	5ヶ所でした。
0:03:47	これは右の表ですね、二つ目の列に書いて、
0:03:51	これらにつきまして、
0:03:52	当社として、観察範囲の拡大、もしくは新規派遣による追加の観察を、
0:03:58	行いました。結果しまして、見明瞭にですね、最新面を横断する箇所を新たに確認することができました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:07	ここですね、S4の飯野8.5売り出しの事例を、右のスケッチで示しております。
0:04:14	上がですね、ご指摘を受けたデータです。最新面に横断する形状が不明確ということで、
0:04:21	追加観察を行ったものが下になります。最新面に明瞭に横断するISの混合層の略というのを、
0:04:28	確認することができました。
0:04:31	なおですね、ご指摘を受けた5ヶ所だけではなくてですね、今回の観察では、全体を通じて再観察しております。その結果としまして、
0:04:42	この表中のS8とKII、
0:04:45	これにつきましては、コメントをいただいておりますが、より明確に横断する額のデータというのを取得しております。
0:04:54	この詳細につきましては後程説明します。続きまして9ページの方ご覧ください。
0:04:59	これはS4の35メートル番トレンチの追加掘削の結果です。
0:05:05	現地調査ですね、本トレンチをご確認いただきました。
0:05:10	その時のデータはですねこの点線の上のデータスケッチと写真となります。
0:05:15	それが岩盤上面付近まで明瞭に伸びていることが確認できないというのを、
0:05:21	受けてですね、このトレンチの壁面を奥行き方向に3メートル程度、
0:05:26	掘り込みました。左の方に位置図を書いております。
0:05:30	新しく出現させた壁面が、点線の下データとなります。
0:05:35	結論から申しますと、旧壁面と同様にですね、岩盤上位の堆積物に、
0:05:41	変位変形がないというのは、同じだったんですが、このS4自体ですね。
0:05:46	SEOが岩盤上面から、もう10数センチというところまで、
0:05:53	明瞭なものが追っかけてきたんですが、本当に数十センチ中、10数センチですね、ここで不明瞭と。
0:05:59	なったということで、岩盤上面までメーラな主せん断面を確認すると。
0:06:04	ということには至りませんでした。
0:06:07	以上ですねこういった、鉱物脈と上載地層法に関する追加調査の結果を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:12	踏まえまして、スマホを今一度4ページの5ページの方戻っていただきます。
0:06:20	このページはですね、これまでもおつけしているページです。敷地内断層におきまして活動性評価を、
0:06:27	行った位置、それと、その内容について整理したものでございます。
0:06:31	ここで、表の中ですん中であったり、図の中で紫色の文字で書いたデータがございます。
0:06:39	これがですね、今ほどご説明した
0:06:42	鉱物脈と上載地層法に関するデータ拡充を反映させたものです。
0:06:49	繰り返しになりますが、鉱物脈法に関しましては、コメントをいただいた5ヶ所を含む、
0:06:55	7ヶ所につきまして、データを更新しております。
0:06:59	一方上載地層法のS4の35メーター番トレンチにつきましては、今ほど結果を踏まえまして、この位置でのデータっていうのもですね。
0:07:09	活動性評価の主たる根拠には用いないということに位置付けしております。
0:07:14	これは5ページの表の中ほどのグリーンの網掛けの米印の場所、一番下にですね。
0:07:23	しかしながらですね、先ほど8ページでもご説明しました通り、今回S4の物理学のデータもしっかり、
0:07:29	補強することができておりますし、S4としての活動性評価を変更するものではございません。
0:07:36	またですね、必要には過去に、この35番トレンチとは別にですね、原子炉建屋付近で行ったトレンチのデータもございます。
0:07:46	今回こういった過去のデータについても、
0:07:49	再整理、再評価を行っております。
0:07:52	それにつきましては、今回のS4の活動性評価に整合することをしっかり確認してございます。
0:08:01	以上、10ページ、12ページにつきましては、コメントの一覧として、回答の概要を、
0:08:08	整理したものです。これにつきましては、この後の該当のページの中で説明いたします。
0:08:14	それでは引き続き、詳細な内容につきまして、スモリの方からご説明をさせていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:22	北陸電力のスマリです。それでは 16 ページ以降の資料についてご説明いたします。
0:08:27	まずは衣装と一緒にになりますが、ほとんど再掲ですので、変更点を中心にご説明いたします。
0:08:34	まずは 28 ページをご覧ください。
0:08:38	28 ページ、こちら再掲の資料になりますけども、敷地の地下構造を把握するため、ボーリングを用いた V S P 探査及び海陸連続で測線を配置した反射法地震探査を実施した、実施した結果、
0:08:51	花崗岩場面に相当する反射面に変位を与える断層は認められません。
0:08:57	32 ページをご覧ください。
0:09:00	こちらが今回追加した、敷地内の通り、福田断層を横断する反射法地震探査の測線及び仕様を示しております。
0:09:09	こちらは現在解析を実施中でありまして、解析が完了次第、敷地内を通り、福田断層、横断する測線を用いまして、敷地の地下構造について、
0:09:19	前日の 28 から 31 ページに示す、反射法 V S P 探査の既往データとの整合性の確認を行います
0:09:27	また、位置図に、福村断層のトレースを図示しておりますが、
0:09:31	現在福浦断層南端付近で調査を実施中でありまして、こちらについても調査の結果、断層トレースに変更があれば、今後、資料に反映していきます。
0:09:41	一生については以上になります。
0:09:44	続きまして、35 ページ以降が、敷地内断層の活動性評価となります。
0:09:49	37 ページをご覧ください。
0:09:54	本日の説明では、右の表で、紫色で示しております。今回拡充したデータ及び審査会合や現地調査でのコメント回答を中心にご説明させていただきます。
0:10:06	まず、上載地層法では、紫色で示している 35 メートル盤トレンチで追加掘削を行った結果、
0:10:12	上載地層に変位変形は認められないものの、
0:10:16	断層が岩盤上面で不明瞭になっていることから、S4 の活動性評価の主たる根拠には用いないこととしました。
0:10:24	次に鉱物脈法ではですね、紫色で示している、S1S4、S5S7S8、K2 Kさんの薄片について、
0:10:34	現地調査でのコメントを踏まえまして、追加観察を実施し、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:37	評価対象断層と鉱物脈との気合い関係が明確なデータの拡充を行いました。
0:10:44	39 から 42 ページは、各断層の活動性評価地点を示しております。
0:10:50	42 ページをご覧ください。
0:10:54	左下の米印のところ紫色で示しておりますが、S5-R-8.1-1 の 3 項につきましては、最新面と鉱物脈との切り合い関係が、
0:11:05	明確に判断できないということから、活動性評価の主たる根拠には用いないこととし、代わりにですね、今回新たに追加しました R8.1-1 の 2 項、こちらで活動して評価を行っております。
0:11:20	続きまして 45 ページからが、評価に用いる変質鉱物。
0:11:24	の章になりまして、まず 47 ページをご覧ください。
0:11:31	このページが、評価に用いる変質鉱物の概要になりまして、ここで紫色で示した、前回からの変更箇所についてご説明いたします。
0:11:41	下から二つ目の箱ですけれども、敷地の変質鉱物が地下深部で生成したことに關する追加検討としまして、
0:11:48	能登半島周辺の地質構造に關する既往知見との関係や、
0:11:52	新第三期堆積岩における演出状況についての確認を実施しております、いずれも敷地の変質鉱物が地下深部で生成したことと整合的であることを確認しており、
0:12:04	これ以降のページがですね、評価に用いる変質鉱物の詳細データになりますが、今回追加変更した箇所について、これからご説明いたします
0:12:14	まず 49 ページをご覧ください。
0:12:19	敷地で確認される変質鉱物の詳細確認ですけれども、今回、右下の表の紫色の 1 ヶ所で追加の E P M A 分析を実施しております、こちらイライトスメクタイト混合層があることを確認してございます
0:12:33	続きまして飛びますが、81 ページをご覧ください。
0:12:42	81 ページ、こちらは敷地周辺の穴水累層中の変質部で認められる粘土鉱物を対象として実施した X R D 分析による結晶構造判定の結果になります。
0:12:53	今回、右下の吹き出しに示します、福浦断層の F K 湾のボーリングをこちらで追加分析を実施しております、
0:13:01	引地と同程度の依頼と混合率を持つイライトスメクタイト混合層であることを確認しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:08	82 ページ 87 ページに、今のデータの詳細で、今の詳細データをつけております。
0:13:17	次に 88 ページをご覧ください。
0:13:22	紫色で示しますように、コメント No. 111、112 の回答としまして、敷地の変質鉱物が地下深部で生成したことに關する追加検討を実施しております。
0:13:33	これ以降ですね、コメント回答のページには、右肩に白抜文字で対応するコメントナンバーを示しております。
0:13:42	89 ページに、能登半島周辺の地質構造に關する既往地形との機能知見との關係を整理しておりまして、文献調査の結果、敷地周辺一帯は、
0:13:52	中期中新世以前に、神講師中期中新世以降に隆起する環境を経たものとされており、
0:13:59	敷地の変質鉱物が地下深部で生成し、その後隆起して、現在の位置で確認されているものと判断したとと整合的。
0:14:07	結果が確認できました。
0:14:10	90 ページには、新第三期堆積岩における変質状況を整理しておりまして、
0:14:15	敷地周辺の穴水累層に加え、その周辺の新第三期堆積岩中の粘土鉱物を対象として実施した X R D 分析による結晶構造判定の結果、
0:14:26	引地と同程度のイライト本郷率を持つイライトスメクタイト混合層が確認されました。
0:14:32	91 から 94 ページにその詳細データをつけております。
0:14:38	続きまして 95 ページをご覧ください。
0:14:43	95 ページ、敷地の変質鉱物と第 4 系との關係になりますが、
0:14:48	審査会合や現地調査でのコメントを踏まえまして再観察した結果、
0:14:52	白色脈が穴水累層の上面で削剥され、上位の第 4 系に覆われていることから、この白色脈の形成時期は、第 4 系の堆積時期よりも古いと判断し、判断しております。
0:15:05	また 96 ページには、今回新たに、大坪川ダム右岸トレンチで実施した調査結果を示しており、
0:15:12	白色脈が穴水累層の上面で削剥され、上位の第 4 系に覆われていることを確認しました。
0:15:19	97 から 104 ページに、各壁面のスケッチと写真をつけておりまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:15:24	それぞれスケッチにつきましては、前回審査会合以降、現状に合わせて修正を行っております。
0:15:32	評価に用いる変質鉱物の追加変更箇所は以上になります。
0:15:38	続きまして 112 ページからは、破碎部中の鉱物脈についてです。
0:15:44	113 ページをご覧ください。
0:15:48	断層と鉱物脈との関係を確認するために、ボーリングコア観察及び露頭調査を実施しております。
0:15:56	ボーリングコア観察の結果、工事ネックが固結した破碎部及び、年度 0 粘土状破碎部中に認められ、これらに変位変形が認められないことから、破碎部の形成は、これらの鉱物脈の、
0:16:08	生成以前であると考えられます。
0:16:13	なお、敷地内の既存トレンチを対象に実施した露頭調査では、風化変質等の影響が著しく、破碎部中に鉱物脈は認められませんでした。
0:16:24	このページの右の表に、細部中に認められた鉱物脈を断層ごとに整理しております、
0:16:29	それぞれの観察結果及び X R D 分析結果を以下の 115 から 140 ページに示しております。
0:16:37	またボーリングコア観察では、変質の状況についても、確認し、観察しております、この考え方を 114 ページに示しております。
0:16:49	ボーリングコア観察の結果、熱水変質によるものと考えられる変質の状況が認められ、
0:16:54	強く変質。
0:16:56	演出、及び、非変質弱く変質、この三つに区分しております。
0:17:02	ボーリングコア観察において、破碎部中に認められた鉱物脈、
0:17:05	及び変質強い変質が認められた変質区間につきましては、
0:17:10	データ集 1 の柱状図の方に加筆しており、
0:17:16	続きまして 141 ページからは、最新面と、最新面付近の変質鉱物についてです。
0:17:23	143 ページをご覧ください。
0:17:28	最新面と鉱物脈との気合い関係の考え方を示しております。
0:17:33	左と真ん中に示す写真やスケッチのように、鉱物脈が最新面を明確に横断しているものについては、最新面と鉱物脈との利害関係を用いて活動性評価を行います。
0:17:45	一方、右の写真、右に示す写真のように、面が全体的に不明瞭で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:51	面の周辺の変形が認められないなど、最新面を明確認定できないものにつきましては、
0:17:57	最新面が分布する可能性のある最新ゾーンと、政府との関係を用いて、
0:18:02	活動性評価を行い、
0:18:07	152 ページからが、各評価対象断層の鉱物脈法による評価になります。
0:18:14	ここでは前回審査会合資料から追加変更した箇所についてご説明いたします。
0:18:20	まず 153 ページをご覧ください。
0:18:23	S1 の鉱物脈法による評価地点になります。
0:18:27	評価地点は前回と同じ 3 地点ですが、
0:18:30	審査会合及び現地調査でのコメントを踏まえまして、記載の変更や提示の追加を行っております。
0:18:38	まずは 155 ページをご覧ください。
0:18:43	A 市 6.6 の 1 項の評価結果になりますが、
0:18:47	最新面と鉱物脈との切り合い関係を詳細に説明するために、
0:18:51	上の箱の一番下の記載を、
0:18:54	粘土鉱物括弧、イライトスメクタイト混合層が最新面位置に横断して分布し、
0:19:00	最新面 12 が不連続になっている。
0:19:02	登記変更しております、
0:19:04	そのデータであります。以下 165 ページ 167 ページ、こちら詳細データになりますが、こちらも同様な記載をに変更してございます。
0:19:16	以下最新面と鉱物脈との切り合い関係が明確と判断した箇所につきましては、すべての評価対象断層で、同様の記載に変更してございます
0:19:27	次に 173 ページをご覧ください。
0:19:35	16.7 項の最新面の認定についての説明性を高めるために、
0:19:40	薄片観察範囲を広げて、最新面の認定根拠を追加に記載しております。
0:19:47	次に 179 ページをご覧ください。
0:19:56	これまでは、右のスケッチの範囲において、16.7 行の最新面 2 と、イライトスメクタイト混合層との関係を確認しておりましたが、
0:20:05	現地調査での断層の最新面が不明瞭になっているものもあり、大隅久我、明瞭に横断しているようには見えない箇所があるとのこと指摘を踏まえまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:14	この 100 円から 3mm 程度削り込んだ位置で作成した薄片において、追加の観察を実施しておりまして、その結果を 180 ページ以降に示しております。
0:20:25	180 ページ、181 ページで、再指名を認定しまして、183 ページ以降で、最新面と鉬物脈等の切り合い関係を確認しました。
0:20:36	186 ページが、現地調査で指摘を受けた箇所の代わりに、最新面にと、鉬物脈との切り合い関係を確認した箇所となりまして、
0:20:45	粘土鉬物が最新面 2 を横断して分布し、
0:20:48	最新面にが不連続になっており、
0:20:50	187 ページに拡大写真、拡大した写真をつけておりますが、
0:20:54	不連続箇所の粘土鉬物に、せん断面や引きずり等の変形は認められません。
0:21:00	また 183 から 185 ページは、最新面位置についての観察結果ですが、こちらでも同様の状況が確認できております
0:21:11	次に 196 ページをご覧ください。
0:21:18	196 ページ、こちら、M12.5 II 孔の碎屑岩脈の分布形状の評価について、説明性を高めるために、薄片観察範囲を広げ、
0:21:28	設碎屑岩脈周辺の状況を示し、基質部との違いを記載しており
0:21:36	S1 についての追加変更箇所は以上になります。
0:21:40	続きまして 248 ページをご覧ください。
0:21:46	248 ページ、こちらは S4 の鉬物脈法による、評価地点になります。
0:21:53	こちら評価地点は前回と同じ 2 ヶ所、2 地点になりますが、審査会合及び現地調査でのコメントを踏まえまして、記載の変更やページの追加をしております。
0:22:03	260 ページをご覧ください。
0:22:09	これまでは、上のこのスケッチの範囲におきまして、の 8.50 III 孔の最新面 2 と、イライトスメクタイト混合層との関係を確認してはいたが、
0:22:19	現地調査でのご指摘を踏まえまして、この 100 円から 1mm 程度削り込んだ位置で作成した薄片において、追加の観察を実施しておりまして、
0:22:27	その結果を 261 ページ以降に示しております。
0:22:32	261262 ページで最新面を認定し、264 ページ以降で、最新面と鉬物脈等の機材関係を確認しました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:42	269 ページが、現地調査で指摘を受けた箇所の代わりに、最新面に投稿通訳との切りあい関係を確認した箇所となりまして、
0:22:51	粘土鉱物が最新面 2 を横断し、横断して分布し、
0:22:55	最新面が不連続になっており、
0:22:57	不連続箇所の粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形は認められません。
0:23:03	また 264 から 268 ページは、最新面 2 の別の箇所と最新面位置についての観察結果ですが、こちらでも同様の状況が確認できます。
0:23:14	S O についての追加変更箇所は以上になり、
0:23:19	続きまして 284 ページをご覧ください。
0:23:24	284 ページ、こちら S5 の攻略法による評価地点になります
0:23:32	前回は R の 8.1-1 の参考で評価を行っていましたが、
0:23:37	鉱物脈が最新面を横断して分布するか明確に判断できないことから、
0:23:42	R の 8.1-1 の 3 項は、参考とし、近接する位置で、最新面と鉱物学との気合い関係が明確な箇所が認められた R-8.1-1 の 2 項において評価を行いました。
0:23:57	289 から 301 ページは、参考とした R8.1-1 の 3 項でして、294 ページをご覧ください。
0:24:09	294 ページ、こちらは、
0:24:12	08.1-1 の 3 項で認められる、その他の面に、
0:24:16	の下盤側に、その他の目 2' が直交ニコルにおいて認められますが、
0:24:21	単ニコルでは対応する構造は認められず、一部他の構造に分断されることから、最新面ではないと判断しております。
0:24:29	その詳細観察データを 296 ページにつけてござい
0:24:35	301 ページをご覧ください。
0:24:41	これまでは、右のスケッチの範囲におきまして、最新面と、イライトスメクタイト混合層との関係を確認しておりましたが、現地調査でのご指摘を踏まえまして、隣接校時作成した学園において、追加の観察を実施しており、
0:24:54	隣接校 A R の 8.1-1 の 2 項の、観察結果が 302 ページ以降になりまして、
0:25:01	302 ページが評価結果になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:06	303 から 305 ページで最新ゾーンの上盤側の境界に最新面を認定し、306 ページで、最新ゾーンの下盤側境界に剪断面が認められないことを確認します、しております。
0:25:19	そして 307、308 ページで、最新面以外のその他の面周辺は、細粒化が進んでおらず、目が弯曲し、凹凸を伴い、直線性連続性に乏しいことから、最新面ではないと。
0:25:31	この辺については判断しております
0:25:34	309 から 311 ページの X R D 分析及び E P M A 分析で、イライトスメクタイト混合層が最新ゾーンやその周辺に分布していることを確認しております。
0:25:46	313 ページ以降で、最新面と鉱物脈との切り合い関係を確認しました。
0:25:52	粘土鉱物が最新面を横断して分布し、最新面が不連続になっており、
0:25:57	314、316 ページに拡大写真をつけておりますが、
0:26:01	連続箇所の粘土鉱物にせん断面や引きずり等の変形は認められません。
0:26:07	死亡についての追加変更箇所は以上になります。
0:26:12	続きまして 319 ページをご覧ください。
0:26:17	319 ページ、こちら S 7 の鉱物脈法による評価視点になり、
0:26:24	評価地点は前回と同じ 2 地点ですけれども、けれども、審査会合及び現地調査でのコメントを踏まえまして、記載の変更やページの追加をしております、
0:26:35	まず 336 ページをご覧ください。
0:26:40	336 ページ、こちら、15.7' 孔の最新面の認定について説明性を高めるために、
0:26:47	100 円観察範囲を広げ、最新面の認定根拠を記載しており、
0:26:53	次に 344 ページをご覧ください。
0:27:00	これまでは、右スケッチの範囲において、15.7' だ施行の最新面にどう、イライトスメクタイト混合層との関係を確認しておりましたが、
0:27:08	現地調査でのこの指摘を踏まえまして、この 100 円から 3mm 程度削り、恩田市で作成した復元において、追加の観察を実施しております、
0:27:17	その結果を 346 ページ以降に示しております。
0:27:22	346347 ページで最新面を認定し、
0:27:26	349 ページ以降で、最新面と鉱物脈との切り合い関係を確認しました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:33	352 ページが、現地調査で指摘を受けた箇所の代わりに、最新面に都甲魚住区との切り合い関係を確認した箇所となりまして、
0:27:42	粘土鉱物が最新面にを横断して分布し、最新面にが不連続になっており、
0:27:47	353、355 ページに拡大写真をつけておりますが、
0:27:52	連続箇所の粘土鉱物に、せん断面や引きずり等の変形は認められません。
0:27:58	また、349 から 351 ページは、最新面 2 の別の箇所についての観察結果になります。こちらでも同様の状況が確認でき、
0:28:08	須永についての追加変更箇所は以上になり、
0:28:14	続きまして 359 ページをご覧ください。
0:28:19	359 ページ、こちら S 8 の鉱物脈法による評価地点になります
0:28:26	総括点は前回と同じ 1 点ですけれども、審査会合及び現地調査でのコメントを踏まえまして、記載の変更やページの追加を行っております。
0:28:36	368 ページをご覧ください。
0:28:43	これまで示していた、右の写真中の範囲に加えまして、今回、その上の範囲 B の観察結果を、372 ページ以降に新たに追加してございます。
0:28:55	372 ページをご覧ください。
0:29:01	粘土鉱物が最新面を横断して分布し、最新面が不連続になっており、
0:29:05	373 ページに拡大写真をつけておりますが、
0:29:09	不連続箇所の粘土鉱物に、せん断面や引きずり等の変形は認められません。
0:29:14	サーチについての追加変更箇所は以上になり、
0:29:19	続きまして 376 ページをご覧ください。
0:29:25	376 ページは、経理の鉱物脈法による評価支援になり、
0:29:31	評価地点は前回と同じ 1 点ですけれども、審査会合及び現地調査でのコメントを踏まえて、記載の変更やページの追加を行っております。
0:29:41	まず 386 ページをご覧ください。
0:29:47	これまでは、上のスケッチの範囲におきまして、11.1-87 行の最新面 2 と、ライフスメクタイト混合層との関係を確認しておりましたが、
0:29:56	他の箇所で受けた現地調査での指摘を踏まえまして、
0:30:00	こちらについても再観察を行い、同一範囲の、同一薄片の範囲において、追加の観察を実施しており、
0:30:09	387 ページをご覧ください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:15	こちらが 386 ページの代わりに、最新面 2 と工事額との切り合い関係を 確認した箇所となりまして、
0:30:23	粘土鉱物が最新面にも横断して分布し、最新面にか不連続になってお り、
0:30:28	388 ページに拡大写真をつけておりますが、
0:30:32	不連続箇所の粘土鉱物に、せん断面や引きずり等の変形は認められませ ん。
0:30:38	件についての追加変更箇所は以上になります。
0:30:43	続きまして 391 ページをご覧ください。
0:30:50	391 ページは、計算の構図めく法による評価支援になります。
0:30:56	評価地点は前回と同じ 1 点ですが、審査会合及び現地調査でのコメント を踏まえて、記載の変更や提示の追加を行っております。
0:31:06	計算は浅部深部ともに固結した浅井部からなり、
0:31:09	394、395 ページに示す、6 校で実施したボーリングコア観察ポーホール TV 画像観察の結果、
0:31:17	いずれも断層面が不明瞭であるものの、
0:31:20	そのうち、左上の M2.2 項では、固結した破碎部中に変質が顕著な部分 が認められる。
0:31:28	また 396 ページの左の位置図に示す 3 校で実施した薄片観察の結果、
0:31:36	いずれも最新面が不明瞭であるものの、
0:31:38	このうち、右写真の M2.2 項では、固結破碎部中に脈状の変質が認めら れることから、
0:31:45	巨視的観察及び微視的観察で固結破碎部中に脈状の変質部が認められる M2.2 項。
0:31:52	こちらで、
0:31:54	当然公募による活動性評価を行いました。
0:31:58	400 ページをご覧ください。
0:32:02	M2.2 項は、瀬瀬浅井部から成り、断層面が不明瞭であることから、最 新面の認定にあたって、朝夕全体を横断するように、薄片観察を行いま した。
0:32:13	その結果、破碎部中の面構造は全体的に不明瞭であるものの、
0:32:17	緑矢印で示した主せん断面付近において、
0:32:21	破碎部中でも、細粒化してる箇所に比較的連続性の良い面が認められる ことから、こちらでより詳細な観察を行いました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:30	401 から 407 ページが、破砕部全体を横断するように行った薄片観察結果になりまして、
0:32:36	408 ページ以降に抽選断面付近で行った詳細な観察結果をつけております。
0:32:43	408 ページをご覧ください。
0:32:49	年 1 は、最新ゾーンの中では比較的連続性の良い面であるものの、全体的に不明瞭で、409 ページに示すように、年 1 の延長位置を挟んで分布するがん編、2.4、変位は認められず、
0:33:02	年 1 を最新面として明確に認定できないことから、
0:33:06	再指名が分布する可能性のある最新ゾーンと、鉱物脈との関係を確認していく。
0:33:13	417 ページをご覧ください。
0:33:19	右の写真に示します、最新ゾーンを横断する範囲 A 及び範囲 D で、最新ゾーンと鉱物脈との関係を確認しました。
0:33:28	418 ページは、最新ゾーンの左半分の範囲で、
0:33:33	の観察結果になりまして、
0:33:35	下のスケッチの水色の部分を見ていただきますと、
0:33:38	キツヤ割れ目が編の縁辺部に網目状に分布する粘土鉱物に変位変形は認められません。
0:33:45	419 ページの右半分の範囲でも、同様の観察結果がえられており、
0:33:51	以上のことから、計算の最新活動は、イライトスメクタイト混合層の生成以前であると判断でき、
0:33:59	続きまして 434 ページをご覧ください。
0:34:07	434 ページは、計 18 の鉱物脈法による評価地点になります。
0:34:13	評価地点は前回と同じ 1 点ですけれども、審査会合及び現地調査でのコメントを踏まえて、記載の変更を行っております。
0:34:21	444 ページをご覧ください。
0:34:28	これまでは右のスケッチの範囲において、市野前 1-0.2 の 75 行の最新面と、イライトスメクタイト混合層との関係を確認しておりましたが、
0:34:37	他の箇所を受けた現地調査での指摘を踏まえて、再観察した結果、
0:34:42	交付薬が最新面を横断して分布するか明確に判断できないことから、
0:34:46	薄片①は、活動性評価の主たる根拠として用いず、
0:34:51	前回から資料に示していましたが、450 ページ。
0:34:55	の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:34:55	最新面と鉬物脈との切りあい関係が明確な学園②で活動性評価を行うこととしました。
0:35:04	計 18 についての追加変更箇所は以上になります。
0:35:09	454 ページ。
0:35:11	をご覧ください。
0:35:17	454 ページは、鉬物脈法による評価に用いた薄片の一覧表になります。
0:35:24	各評価対象断層のすべての評価地点において、最新面、或いは最新ゾーンと、鉬物学との切り合い関係を確認し、いずれの鉬物脈にも変位変形は認められません。
0:35:37	460 ページからが、敷地内断層と活断層との破碎部の性状比較になります。
0:35:43	461 ページをご覧ください。
0:35:50	露頭調査や薄片観察において、細部性状の比較を行った結果、
0:35:54	敷地内断層と活断層で明瞭な差が認められました。
0:35:59	右上の表には、敷地内断層と活断層との性状比較結果を整理しております、462 ページ以降に詳細データを示しております。
0:36:08	まずは、462 ページをご覧ください。
0:36:14	462 ページ、露頭調査における比較結果になりますが、
0:36:18	敷地内断層では、第 4 系に変位変形を与えているのに対し、活断層では、第 4 系に、
0:36:24	失礼しました。敷地内断層では第 4 系に変位変形を与えていないのに対し、
0:36:29	活断層では第 4 系に変位変形を与えており、
0:36:33	また 463464 ページには、
0:36:36	層状構造についての比較結果を示しております、
0:36:39	463 ページの敷地内断層では、右の写真のように、主せん断面に沿って層状構造は認められませんが、
0:36:47	464 ページの活断層では、
0:36:50	右の写真のように、主せん断面に沿って粘土鉬物が層状に分布する層状構造が観察されまして、
0:36:56	繰り返し活動した構造が認められております。
0:37:01	次に 465 ページをご覧ください。
0:37:06	465 ページは、
0:37:09	敷地内断層と活断層では県での比較をするにあたりまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:13	福田断層のボーリングコアで作成した 100 円の位置や、変質鉱物の分析結果を示しております。
0:37:20	466 ページは X R D 分析機関。
0:37:24	467、468 ページは E P M A 分析結果になりまして、
0:37:28	これらの分析により、断層ガウジやその周辺で、イライトスメクタイト混合層を確認しております。
0:37:36	469 ページをご覧ください。
0:37:40	469 ページは薄片観察における比較結果になりますが、
0:37:45	上の写真の敷地内断層では、下の写真の活断層のような明瞭な複合面構造や層状構造が認められず、弱い面は連続性に乏しく不明瞭。
0:37:56	また、Y 面付近の粘土鉱物を比較した結果、
0:37:59	敷地内断層では、最新面を横断して分布するイライトスメクタイト混合層に、せん断面や引きずり等の変形は認められないのに対し、
0:38:07	久米田断層の F k 事項から作成した薄片では、
0:38:11	イライトスメクタイト混合層に明瞭な Y 面や引きずり等の変形が認められ
0:38:18	470 ページは、福田断層の F K 湾口の、
0:38:22	薄片で認められる複合面構造を示しておりますして、471 ページは、不健康で認められる層状構造を示しており、
0:38:33	472 ページ以降は、福田断層の 3 ヶ所の露頭で作成した薄片の観察結果になりまして、
0:38:40	いずれの薄片においても、敷地内断層と比較して、明瞭な複合面構造及び層状構造が認められ、
0:38:48	また、それぞれの断層位置で実施した X R D 分析の結果、主として、風化変質鉱物と考えられるハロイサイト等が検出されております。
0:38:59	断層深部で採取した F K 湾口と異なり、
0:39:02	露頭では風化等の影響を顕著に受けていると考えられ、イライトスメクタイト混合層の同定が困難なことから、イライトスメクタイト混合層を用いた比較はできませんが、
0:39:13	福田断層の露頭で作成したいずれの薄片においても、ハロイサイト等の風化変質鉱物に変位変形が認められ、
0:39:23	472 から 475 ページが、大坪川ダム案トレンチの調査結果を示しておりますして、476 から 478 ページが、
0:39:33	大坪ダム u 北道路の調査結果。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:37	479 か 481 ページが、大坪川ダムが南道路の調査結果になります。
0:39:44	稲井断層と活断層との破砕部性状の比較は、以上になります
0:39:50	続きまして 483 ページからが、上載地層法による活動性評価になりまして、
0:39:55	前回審査会合資料から追加変更した箇所についてご説明いたし
0:40:01	514 ページをご覧ください。
0:40:10	514 ページですけども、園庭左岸トレンチの堆積物は、エレキが 0.5 から 5 センチと小さく、
0:40:17	他の地点と同じ条件で、れきの形状の定量的な評価ができないことから、これまで定量的な分析を実施しておりませんでした。
0:40:25	今回、トレンチ周辺の同一段丘面上において調査範囲を広げて、掘削することにより、
0:40:32	計 5 センチ以上の利益を集めて、定量的な分析を実施する予定としてございます
0:40:39	次に 532 ページをご覧ください。
0:40:46	532 ページ、こちらは、S2S6 のナンバー 2 トレンチの、M1 段丘堆積物中に認められる層理の傾斜方向と、断層との関係を確認した結果を示しております
0:40:58	その結果、相違の傾斜方向は、断層からの距離に関係なくばらつきが認められ、断層を挟んで傾斜方向が東西のどちらか一方に変化するような傾向は認められません。
0:41:10	532 ページは、層理面傾斜方向の測定位置。
0:41:14	533 ページは、縦軸が層理の傾斜方向、横軸が断層からの距離を示したグラフに測定結果をプロットしたものです。
0:41:23	このグラフで、断層からの距離に関係なく、プロット点はばらついて、
0:41:30	534 から 536 ページは、北面、南面、北面及び南面のそれぞれについて、断層からの距離ごとに相違の傾斜方向を示したものになっております。
0:41:44	次に、540 ページをご覧ください。
0:41:51	S4 の 35 メートル盤トレンチの評価結果になりまして、現地調査でのコメントを踏まえて、追加掘削した結果、
0:41:58	右上スケッチの旧北面では、岩盤の風化の影響により、不明瞭だったせん断面が右下スケッチの新北面では、岩盤の風化の影響が小さくなり、明瞭に確認できるようになりました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:11	ただし、S4 の上方に分布する、一々段丘堆積物に変位変形は認められないものの、
0:42:17	S4 は岩盤上面で不明瞭となることから、
0:42:20	35 メートル盤トレンチを S4 の活動性評価の主たる根拠には用いないこととしました。
0:42:27	追加掘削の詳細データは 548 から 552 ページにつけております。
0:42:35	544 ページをご覧ください。
0:42:39	35 メートル盤トレンチの旧北面の地表付近では、
0:42:44	風化により岩盤と岩井栄一市段丘堆積物の境界が不明確であることから、
0:42:50	目視観察による岩盤上面の境界を明確にするために、はぎ取り調査、帯磁率測定、CT スキャンを実施した結果、
0:42:58	目視観察による岩盤上面 1 と整合的なデータがいられました。
0:43:02	545 から 547 ページに、それぞれの詳細データをつけております。
0:43:09	553 ページの追加掘削箇所においても、同じ目的で詳細な観察分析を実施しております、
0:43:16	こちらでも目視観察による岩盤上面 1 と整合的なデータが上げられており、
0:43:21	553 から 555 ページに、それぞれの詳細データをつけており、
0:43:27	566 ページをご覧ください。
0:43:34	35 メートル盤法面の施工時の記録になりまして、左は平面図、右は断面図になり、
0:43:42	S4 の延長位置は、施工時の裏面では、尾根付近、尾根部付近に当たりまして、567 ページの、施工時の写真によれば、
0:43:51	四番を赤色土壌の分布は確認できるものの、1H、一々段丘堆積物の有無については判断できません。
0:43:59	上載地層法についての追加変更箇所は以上になります。
0:44:05	571 ページ以降が、活動性評価のまとめになりますが、573 ページをご覧ください。
0:44:13	今回すべての評価対象断層で、設置許可変更時や有識者会合時など、過去に取得したデータと今回の評価結果との整合性について整理しておりますので、S1 を例にご説明いたします
0:44:27	右下の四角の破線に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:29	過去に取得したデータが、今回の評価結果と整合的であることを記載し、その詳細を、574、575 ページにつけており、
0:44:39	574 ページをご覧ください。
0:44:44	資料の網掛け箇所は、今回の活動性評価の根拠に用いているデータ。
0:44:49	緑の網掛けは、過去に取得したデータになりまして、
0:44:52	過去に取得したデータは、いずれも今回の評価結果と整合的であることを確認しており、
0:44:59	この評価対象断層についても、過去に取得したデータが、今回の評価結果と整合的であることを確認しており、その結果を 576 から 586 ページにつけております。
0:45:14	続きまして巻末の 590 ページ以降に、現地調査でのコメント回答資料及び融資者会合の評価を踏まえて拡充したデータについてを示しております。
0:45:29	まず、591 ページをご覧ください。
0:45:34	こちらが一番の海岸部の開放部のスケッチ作成方法についてになります。
0:45:41	海岸部の会合付近の露頭は、浸食等により、最大 0.5 メートル程度の起伏を行う形状であり、右の計 2 系ごとの会合付近のスケッチの作成にあたっては、
0:45:53	会合部の地表面の標高を基準として作成しております。
0:45:58	左写真中の左下の岩盤は周辺に比べて標高が高く、上から撮影した、この左の写真では、
0:46:06	東傾斜の形の断層面が周辺よりも高い位置に表れ、
0:46:10	見かけ西側、つまり写真の上側へ張り出しているように見えます。
0:46:15	そのためスケッチでは、経理の断層面を会合部と投票後に補正し、両者しております、
0:46:22	なお海岸部の他の会合部スケッチについても同様な手法で作成しております、
0:46:30	次に 2 番、軟質部等の連続性については、594 ページをご覧ください。
0:46:39	1500 気がしました 594 ページをご覧ください。
0:46:44	現地調査でのコメントを踏まえて、柱状図に記載していない軟質部や条線が認められる部分など、計 3 ヶ所の連続性を検討した結果、
0:47:07	やれないかな。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:08	規制庁ですけれども、踏まえたデータの拡充につきましては、6 ページをご覧ください。すいません規制庁のカイダですけれども。
0:47:18	聞こえますか。
0:47:22	はい。聞こえております。
0:47:24	先ほどちょっと二、三十秒前ぐらいに一旦ちょっと音が聞こえなくなったので、
0:47:30	ちょっとちょっと少しさかのぼってもう一度、今はしっかり聞こえて、そちらの画像も見えてるんですけれども。
0:47:38	もう一度少しさかのぼってから説明いただいてよろしいでしょうか。
0:47:45	はい、承知しました。
0:47:46	それでは 594 ページの 594 ページからご説明いたします。
0:47:55	軟質部等の連続性について 594 ページ以降に示してございます。
0:48:00	現地調査でのコメントを踏まえまして、柱状図に記載していない軟質部や、条線が認められる部分など、計 3 ヶ所の連続性をか検討した結果、
0:48:10	いずれも隣接校等に認められないことから、連続する断層ではないことを確認しており、
0:48:16	594 から 603 ページにそれぞれの詳細データをつけております。
0:48:23	続きまして 605 ページをご覧ください。
0:48:27	605 ページは、融資者会合の評価を踏まえたデータ拡充になります。
0:48:35	優秀会合による評価及び、今後の課題を踏まえて、S1S2S6 を含む評価対象断層を対象に、右の図の黄色の丸で示した位置で、
0:48:45	鉱物脈法による評価を実施しておりまして、
0:48:48	その結果、S1S2S6 等の引合断層は、いずれも将来活動する可能性のある断層等ではないと評価しており、
0:48:58	606、607 ページに、今後の課題に対応するデータ拡充結果を整理しておりまして、それぞれレーザーの掲載箇所もあわせて記載しております。
0:49:08	今後の課題⑤については、608 から 611 ページにデータをつけておりまして、
0:49:14	敷地周辺の福村断層と井川南岸断層、碁盤島沖断層、兜岩沖断層の 4 断層は、いずれも敷地内断層と連続するものでないものではないと判断しております。
0:49:26	敷地内断層の活動性評価の説明は以上となります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:30	最後に1枚ものの、今後の審査の説明の方針についてご説明いたします。
0:49:37	はい北陸電力の吉田です。私の方からですね、お配りした1枚もののペーパーを、
0:49:44	説明いたしますが聞こえますかね。あれですかね。
0:49:48	はい。はい。聞こえてますとですね、
0:49:52	はい。
0:49:53	このペーパーですね、1月14日の審査会合でですね、調査の進捗を説明したときの、
0:49:59	調査のスケジュール表をベースにしております。
0:50:02	えーとですね、ちょうど表の、一応栄にちょうど色の境界を上ります3月の加茂です。
0:50:09	ですね、まず、14日に説明いたしました、追加調査の敷地内断層、そして、敷地近傍断層丸丸井としました。
0:50:19	これにつきましては、本日までの追加調査につきましては順調に推移しております。
0:50:26	その後ですね、この凡例にもありますがまず青文字から説明いたしますが、1月4日の審査会后以降の変更点と、
0:50:34	ということで、4日にですね、少しコメントいただきました。具体的に申しますと、0日、敷地近傍断層の、
0:50:42	一番上ですね、福田断層の旧ダムの特レンチのスケッチですね、間瀬ダムの底盤のスケッチですね。
0:50:49	そのOCMについて追跡のボーリング、これは追加で半月ばかり追加しております。
0:50:55	あとはその下ですね、反射法地震探査、これは福浦の端部よりもさらに南方の、
0:51:02	ところで、コメントいただきましたが、これ、我々も実施する方向でやっております。
0:51:07	これにつきましても半月掘程度を延長することで修正しております。
0:51:12	それに伴いまして、0日につきましては、報告が少し、
0:51:17	5月にずれ込むという形になります。
0:51:19	あとはCにつきましては、前回、2月7日にですね、1回目のヒアリングをさせていただきました。ただし資料がボウタイと膨大ということで、海域と陸域に分けさせていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:31	マルC-1ですね、海域の方から詳細に1回も説明しましたと、こういう現状までのもと、今後、少しABCの1と2と、錯綜していきますので、
0:51:43	我々の思いです思いとして、次何するのかという形で、まず3月の本日でですね、丸栄の1回目のヒアリングをしています。
0:51:52	次回につきましては、優先順位、赤文字で書きましたが、この後ですね、この資料の敷地内断層の2回目のヒアリングもしくは、審査会合していただければありがたいんですが、それを優先していきたいと思っています。
0:52:04	マルBにつきましては、今ほどの追加調査、まず進行しておりますので、それをやっている間に丸氏の一番ですね、1回名会議しましたが2回目の海域。
0:52:17	引き続き、椎野に陸域についても説明していきたいと。
0:52:22	ただしマルBの追加調査の結果も出てきますので、③とか④につきましては、現時点での思いです。あとは審査会合等々の状況もありますので、
0:52:33	上の(5)は書きましたが、これは変更する可能性があります、まずもっての希望順位として、今回は、この0への切り換えをしていただきたい。
0:52:42	ような思いでございます。はい説明は以上です。
0:52:49	はい。規制庁のカイダです。ご説明ありがとうございました。
0:52:53	今最後にご説明いただいた、今後の審査の方針と、
0:53:00	説明の方針案、
0:53:02	一応ご希望としてはそうであるってところを今承ったんですけれども。
0:53:08	これ
0:53:10	調査の進捗もありますし、
0:53:14	希望ジュンイチヒアリング丸栄のヒアリング第2回または審査会合。
0:53:21	っていうところもあるんですけども、ヒアリングが何回で終わるかかっていうところも、また不透明な上、
0:53:27	それがまた
0:53:30	この下の段のところもヒアリング1回2回っていうのが増えれば、
0:53:34	どっかの後のやつと重なってきたりもしますので、
0:53:38	ちょっと現状でこの通りに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:53:41	どうなるかっていうところ私どもこちらとしてもその、
0:53:45	特に見えてるような状況でもないので、現時点でこういうご希望である というところはお聞きしましたので今後説明とか調査の、
0:53:56	資料の作成とか調査の進捗に応じてまた
0:54:00	更新されるものと思ってますので、
0:54:03	その点はよろしいでしょうか。
0:54:08	北陸電力藤田です。
0:54:10	我々も調査の進捗等につきましてまた的にご報告させていただきまし て、また資料の、
0:54:16	べきとかですねそこも踏まえて檜垣の回数決まると思いますんで、それ に合わせてローリングしていきたいとしますのでよろしくお願いま す。
0:54:23	はい規制庁の甲斐です。
0:54:25	こちらとしましても整ったところからもう順次というふうにも考えてま すけれども
0:54:31	一応
0:54:32	ひとまずはこういったご希望ということで承りました
0:54:36	で、
0:54:37	ではですねこの話はひとまずおきまして、
0:54:41	今日説明いただいたコメント回答の資料に関して、
0:54:46	こちらの方から、確認させていただきたいのでよろしくお願います。
0:54:52	まず私の方から、
0:54:54	ですけれども、
0:54:57	まずちょっと全体の構成的なところになるんですが、
0:55:03	今回コメント回答ということで、前回の、
0:55:10	審査会合とか現地調査、
0:55:12	コメントしたことを踏まえて、追加調査等をやっこれた上でそれ を、
0:55:18	まとめて、
0:55:21	説明されてると。
0:55:22	いうところの資料かと思えます。
0:55:26	で、追加調査に関しては一応、
0:55:29	6 ページに、
0:55:31	一応こういうことをやりましたってことで一覧まとめてあるんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:36	次のページ以降で 8 ページと 9 ページ、
0:55:42	ちょっと重立ったものということで、今 8 ページに、
0:55:47	鉱物脈法の追加調査の概要と、
0:55:50	こういったことをしましたと。
0:55:53	9 ページに、上載地層法の S4 と。
0:55:57	いのでこういったことをしましたというところなんです。
0:56:03	他にも結構いっぱいされてる中で、
0:56:06	この二つが結構概要ページがあるっていうのも、
0:56:11	主なものということなんですけれども。
0:56:14	つけるのであれば、他の項目も、
0:56:18	一応こういうことをコメント踏まえて調査して、
0:56:22	こういうことをしたんですっていうのが、同じようにあった方が、これ、この資料読み始めていく上でも、
0:56:29	わかりやすいし前回の会合との繋がりという意味でもわかりやすいと思うんですけれども。
0:56:35	これあの、二つだけじゃなくて他のもつけるっていうことで、できないんでしょうか。いかがですか。
0:56:44	はい。北陸電力の野原です。現在つけております 8 ページの 9 ページにつきましては、鉱物脈法と塩野上載地層法ということで、
0:56:53	活動性評価に直接関わるものとして今回二つ挙げさせていただきました。
0:56:59	カイダさんおっしゃる通り、他の調査につきましても、目次の前に概要つけることは可能ですので、
0:57:06	次回の資料には他の調査も反映して、資料の方、作成したいと思います。以上です。
0:57:15	はい、わかりました。よろしく申し上げます。
0:57:19	それとあとは、
0:57:22	と、
0:57:23	10 ページにコメント一覧ということで、
0:57:27	全部載ってます。
0:57:31	で、
0:57:34	これ
0:57:36	ちょっと個別の話にちょっと入っていくかもしれないんですけど。
0:57:40	一番下に全般ということで 125、No.125 のコメントで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:46	活動性評価に用いてないデータも含めて過去のデータについて、
0:57:52	最終的な評価との整合性について整理して、総合的な説明を行うことと。
0:57:58	ということで、これは、
0:58:01	おそらく、
0:58:02	この資料で言うと、
0:58:04	一番最後に近いところ。
0:58:07	の、
0:58:08	570
0:58:11	3 ページ以降、573 ページから、
0:58:15	S1、
0:58:16	それ以降、
0:58:18	他の資料も、
0:58:21	他の断層もこういったふうにまとめてあると思うんですが、
0:58:29	これ、
0:58:30	まずそこにそういった認識でよろしいですか。
0:58:36	はい。北陸電力の野原です。カイダさんの言われる認識で構いません。以上です。
0:58:44	はい。カイダです。わかりましたじゃ。
0:58:47	ではですねこれあの、
0:58:49	ちょっとあれなんですねこの現在の評価っていうのと。
0:58:55	使っていないのが、緑、緑の枠で使ってるのが白。
0:59:01	ということで、
0:59:03	現在の評価こういった、これがどういう状況なのかっていうのを具体的な、
0:59:09	調査結果っていうのが、
0:59:12	少なくともちょっと本編からわからないんですが、
0:59:17	これ、あれですか。やっぱ、
0:59:19	補足のほうにはどうも載ってるようなんですけれども。
0:59:23	これ、
0:59:24	全部載せると。
0:59:26	さすがにここに乗り切らないんで。
0:59:29	補足に全部飛ばしてる。
0:59:32	けれども一応全部紐付けできてるということ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:36	考えてよろしいですかこれ、
0:59:41	はい、北陸電力木村です。
0:59:43	カイダさん今ほどおっしゃった通りでございまして、
0:59:48	この緑のハッチかけたところの表の、
0:59:52	一番左、左から2番目の列のところに、青字で補足資料の何番というふうにちょっと記載しておりますけども、こちらの方にデータの方を、
1:00:04	すべてを付けおつけしております。
1:00:08	以上です。
1:00:11	はい、わかりました。
1:00:13	それで、この最後の570ページ、73ページ以降のところ、
1:00:20	等、
1:00:22	ちょっと前丹にも似たような、
1:00:25	ことを説明してるページが30。
1:00:30	9ページ、7ページ。
1:00:33	移行活動性評価の方針。
1:00:37	とかにあったんですけども、
1:00:40	ちょっとまず37ページ、とか、
1:00:44	具体的に言うとS4で確認したいんですけども。
1:00:50	37ページS4で35番、メートル盤トレンチっていうのは、
1:00:55	ここの表には入ってるけれども、
1:01:01	主たる根拠には用いないと。
1:01:03	ということでS4については41ページ。
1:01:07	にも
1:01:09	そういったことも書いてあります。
1:01:11	一方でさっき500万、70何ページ以降でも、
1:01:17	いろいろ、他にも他の断層もS4以外も、
1:01:22	整合的なんだけど、
1:01:24	今となってはちょっと使わないみたいなデータもいっぱいあって、
1:01:30	それはこの37ページのこの、
1:01:34	表とか、あと30。
1:01:37	9ページから42ページの間この、
1:01:40	説明のところには、
1:01:41	ちょっと出てこないような感じなんですけれども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:46	この違いっていうのは何ですか、S4のこの主たる根拠に用いないけれどもこの、
1:01:52	こっちで、37ページとかで書いてあるけども、
1:01:56	他の断層で、ちょっと却下しちゃったけども、
1:02:01	或いはするけれども整合的だけど、使わないっていうのと、何か違いがあるんでしょうか。
1:02:10	はい。
1:02:11	送り電力の木村です。
1:02:13	37ページのところですけども、一番上の黄色のところに記載。
1:02:22	ありますけども、
1:02:23	これが活動性評価の我々の方針でございまして、約12から13万年前以前の地形面または地層が確認できる箇所で、
1:02:34	地層の変位変形構造による評価上載双方を行うというふうな方針で、
1:02:42	やっております。この方針に基づきますと、この12から13万年前以前の地層が確認できる箇所ってというのが、
1:02:50	我々、敷地内では3ヶ所ありまして、それがこの表に記載している駐車場何棟トレンチとNo.2トレンチと、
1:03:00	35メートル盤トレンチと、この3ヶ所になります。
1:03:04	なので、まずはこの3ヶ所で上載地層法による評価を行おうという、この方針を示したページがこの37ページとなっております。
1:03:14	で、方針はそうなんですけども、調査の結果、S4の35メートル盤トレンチは、
1:03:22	上載地層に変位変形は認められないものの、断層が岩盤上面付近で不明瞭になっていると。
1:03:29	ということから、結果的に、S4の活動性評価の主たる根拠には用いないと。
1:03:36	いうふうに整理しております。
1:03:38	ですので、
1:03:40	この37ページの一覧表には、35メートル盤というものは入ってるんですけども。
1:03:46	結果的に、主たる根拠には用いなかったということで、最後のまとめのところでは、主たる根拠には入れていないと。
1:03:55	いう形と、整理しております。
1:03:59	その他の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:02	主たる根拠としていないデータについては、我々この 37 ページに書いてある、
1:04:08	黄色の、
1:04:10	活動性評価の方針に従いますと、
1:04:15	部活動性評価の
1:04:19	用いる手法としては、用いる。
1:04:23	用いないものというふうに整理したので、
1:04:27	これについては、
1:04:30	39 ページから、42 ページの左下の方に米印の方で注釈入れて入れておりますけども。
1:04:38	上載地層の年代が明確に判断できないですとか、
1:04:44	そういった、
1:04:45	物については、
1:04:49	の活動性評価地点、
1:04:51	としては、用いないということで初めから外しております。
1:04:57	はい。以上です。
1:05:03	はいカイダです。
1:05:05	まずここで、上載地層法っていうところで、十二、三万年前の、
1:05:13	以上よりも前の地層があると思う。
1:05:18	確認されたところは書いてあるけど、
1:05:22	そうですね、上載地層法。
1:05:26	ちょっとこの表からそこがなかなか読み取れなくて、上載地層法という、
1:05:31	のでここ、こういったところの文。
1:05:34	場所の、
1:05:37	情報を使いますというふうにも見え、
1:05:40	部分ですね。で、
1:05:41	ちょっとそこら辺は他の、
1:05:43	情報とこの 35 メートル盤トレンチの、
1:05:46	違いっていうのはちょっとわかりづらいんでもう一方、いま 1 度ちょっとここは整理して、
1:05:52	何でこれだけちょっと別扱いなのかっていうのはわかるような説明はどこでもいいんですけど。
1:05:59	確認いただきたいのと、整理して記載いただきたいのと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:04	あと鉱物脈法っていう観点だんと、これは、
1:06:12	ちょっと今、対応の表を、
1:06:17	すぐにこの拡散情報があるので、
1:06:21	これを見てすぐどうこうってわけじゃないんですが、
1:06:24	見直した上で今回追加しましたと。
1:06:29	だけど、
1:06:30	切り合いとか、鉱物脈押し書きしっかり横断してるかどうかわからないので、
1:06:37	削り込んだ新しい薄片を、
1:06:41	作ってみましたっていうのは当然ここに入ってると思うんですけども。
1:06:46	削り込む前のやつとか、そういったのは、ここには今入ってないっていうことで、
1:06:52	よろしいんですかね。それが
1:06:56	S4とかトーンン。
1:06:58	今の並びでいくと、
1:07:01	情報としてはあるけども主たる根拠に用いないのか、もうここから落ちてくるのかっていうのをちょっと確認したいんですけども、いかがですか。
1:07:12	はい。北陸電力の野原です。
1:07:15	まず先ほどの上載地層法のS4の35万トレンチの記載方法につきましては、先ほど木村が言ったような趣旨で考えておりますが、それがもう少しわかるように、
1:07:28	資料の記載の方、丁寧にわかるように記載の方見直したいと思います。
1:07:34	鉱物脈法の方の扱いについてですが、
1:07:38	こちらは、
1:07:40	もともと用いてましたボーリング孔と、
1:07:44	同じ薄片使っているもの。
1:07:47	もあります。
1:07:48	が、
1:07:50	今回この紫の部分が、
1:07:54	現在評価に、最終的に主たる根拠として用いた薄片として追加したものになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:01	この表の見方としましては、主たる根拠に用いたものだけを、この表に示しております、先ほど言いましたもともと現地調査で、コメントがついたもの。
1:08:11	につきましては、この表から外しております。ただ同じボーリングを用いているものにつきましては同じボーリングですので外したということがわかりませんが、違うボーリングを、例えば、これ 18、
1:08:24	などは、もともと、
1:08:26	二つ、鉱物脈でボーリングを用いてましたが、
1:08:31	なぜここ一緒しません、98 は同じですね。
1:08:35	S5 ですね、すみません、S5 につきましては、もともと違うボーリング孔で、主たる根拠として用いておりましたが、現地調査の指摘を受け、受けまして、今回違うボーリング孔に差し替えております。
1:08:47	そういったことからこの表は最終的に評価に用いているものだけを載せてある表になっております。以上です。
1:08:57	改善する。わかりましたで。
1:08:59	今おっしゃったような S5 なんていうのは今回、これ配本最後のーが 2 のやつを使って、もともと -3 だったのは、参考扱いみたいになってると。
1:09:10	そういう意味だと今の 35 メートル盤トレンチと、
1:09:14	扱いがどう違うのかっていうところもちょっと、
1:09:16	その辺の統一感がないような、
1:09:20	ふうにも見えますので、
1:09:22	ちょっとその辺り、
1:09:24	また整理していただいて、37 ページからこの 42 ページのところの、
1:09:31	表記はまたちょっとその辺りがわかるように、
1:09:36	表現していただきたいんですね。今の、
1:09:40	鉱物脈法っていう観点だと、鉱物脈という概念に入るかどうかわかんないですけど。
1:09:48	昔の宇野底盤 S K E T C H で、何。
1:09:52	何か碎屑岩脈が横断してたっていうのも、
1:09:55	またそれも鉱物脈んじゃないけど近いような、
1:09:59	話にもなりますので、
1:10:01	そういったものはどうどういった観点で、
1:10:05	落としてるのか、それは後ろの方の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:10:08	500 ページ以降のところを見ればわかるんですけどもちょっとこの辺の、
1:10:12	前段での説明と後の方の説明で、
1:10:15	ちょっとなかなか、最初にこの 30 何ページ、読んでいった時にその辺りが、
1:10:22	わかんないっていうところもありますので、ちょっと表のデータの扱いはちょっと。
1:10:28	統一感を持った形で整理していただけますでしょうか。
1:10:32	北陸電力藤田です。今、カイダさんおっしゃるように 37 ページの鉱物脈法については、S4 の T でいけば、454 ページの、
1:10:43	こういったデータが本当は、
1:10:44	載せるべきじゃないかっていう趣旨だと思います。
1:10:47	この 37 ページは最終的な、
1:10:50	活動性評価に用いたものの表と、それ以外のデータについてはどこに、こういったものがあるっていうのわかるような仕切りをするようなページにしてですね。
1:10:59	しっかり評価に、主たる根拠として用いた表と、そうでないデータは、こういうところに載せてあって、こういう評価をしてるっていう概要ぐらいを少し書くぐらいの。
1:11:09	整理にしたいと思いますが。
1:11:11	多分、以上です。
1:11:15	はい規制庁の甲斐です。そう。ちょっと
1:11:19	扱い上、情報の扱いのが統一化されてれば結構せんで、
1:11:25	今の 454 ページを追加するっていうのも一案でしょうけど、35 メートル盤トレンチっていうのは使わないのであればもう、
1:11:33	最初のところで、
1:11:34	表には載せないけど注釈に書くとか、
1:11:38	そういったところもあろうかと思しますので、ちょっとまた、表現の仕方等を整理していただきたいと思しますのでよろしくお願いします。
1:11:47	それで、あと通知いたしました。すいませんナイトウですけれども、整理の仕方が非常に良くない。
1:11:56	北陸電力の清野四方が、刀禰コメントでしてるけれども、いろんなデータがあって、新たに取ったものを、もあってという中で、どう説明するんですかっていうところをよく考えてもらいたい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:11	前に撮ったデータではこれだと否定できないから、アウトって有識者に言われてるわけですよ。
1:12:19	それをあたかも存在しないから雄琴君。
1:12:24	説明しようとしてるので、それはやめてください。
1:12:28	エスワンだったら、エスワンとして取れてるって言ったってのは、有識者の時に示したものも含めて、どういうデータがあるんですか。
1:12:37	有識者から今後こういうことをやっやらないと駄目ですよねっていう宿題事項があって、鉱物脈も実は有識者から言われてるはずなわけですよ。
1:12:51	今の整理だと有識者会合の種拡充という話については鉱物脈の話があんまり出ていないし、
1:13:01	どういう位置付けなんですかと前にやったやつをこうでしたと思うんでそれについては観察事実をもう見れないものがほとんどだからということだと思うんだけど。
1:13:10	砕屑岩役立っていや砕屑岩略使えませんかと言われてるのは、いや全部を完全にオーダーしてるわけじゃないから、全然受けてずれたっておかしくないでしょと言われてる。
1:13:24	認識者はそういうふうに言ってるはずなんだけど。
1:13:26	そこの部分についての考え方も何も書いてなくて、ぼやーとしか書いてない。
1:13:34	そう。そういうのも含めて新しくそれを変えてそれを、
1:13:39	だと、明確に見えないからということで、どういう観点でどういうデータを取りましたと、それらも含めて考えた時にはこうなんですという説明に、
1:13:50	してくれないと。
1:13:51	有識者が言ったものもデータ。
1:13:54	ないものだって新しいもので判断すればこうですと。
1:13:59	言われたところで、
1:14:00	どうすんですかって話にしかないから、
1:14:06	僕はまとめ方をよく考えています。
1:14:13	S N S 僕なんかだと
1:14:20	経営者堆積物が傾斜をしているというふうに考えることができますよねと。だから当局の影響を受けているんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:32	というふうに言われたということですので。データ拡充とかいろいろやっているという中、
1:14:37	どう変わったんですかとで、新しいデータはふやしたんですかふやしてないんですがその結果どうなってるんですかというところが、資料読み取れないし、
1:14:48	それプラス、鉱物脈をトライした結果として明確に切ってるものが見つかったっていうのであれば、だったら、明確に切ってるものでは聞いてますと、当局の。
1:15:01	の影響が考えられるとしたものについてどう考えているんですかというところが見えない。
1:15:13	北陸電力としては有識者が、当間へ行ったデータとしてこう判断するのが合理的といったことについて、いや、データ拡充をしたってことによつて
1:15:24	合理的だと有識者が言ったことを覆すものが出たんですか出てないんですか。
1:15:30	ていうのと、プラス、
1:15:33	有識者から、鉱物脈も有益だからって言われたやつをやった上で、
1:15:39	大角八鍬同伴どういう判断もあったんですか。
1:15:43	それらを考えたときには、多分鉱物脈で判断してるってということだと思うんだけど。
1:15:50	鉱物脈でこういうふう判断できるのでそれを踏まえれば前のやつはどう評価できるのか、
1:15:57	考えがわからん。
1:16:05	我々有識者の判断で決めると言っていないけれども、有識者0の判断は有力な知見として活用すると言っていて、その知見に対してどう北陸電力が暗唱したのかが見えないと。
1:16:21	北陸電力藤田です。
1:16:23	今内藤さんの、ちょっと確認事項。
1:16:27	ですね我々のセールスとすると今のガイドなりそういった流れで、鉱物脈、或いは上載層という形で整理した上で、
1:16:36	今 606 と 607 にですね。
1:16:39	10 社介護の評価を踏まえたデータ拡充っていう、見だしがこれでいいかどうかちゅうのはあるんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:45	優秀会合で、今後の課題も示されたらそれSURC全体としてばくっと こうですっていただけじゃなくて、ここの評価としてどうしてるんだ よ。
1:16:55	エスワン。
1:16:57	別にS6で、
1:16:58	ここの評価としてどうしてるんですか。
1:17:01	鉱物脈と上載地層があったからマルですっていう考えなんですか。
1:17:05	それを大石記者から指摘されたことに対しては、何、どういう回答にな ってんですか。
1:17:13	融資が介護のこの100606と607の右の方にですね。
1:17:18	だからそれは有識者に言われたことの取りまとめ表でしょ、サービスカ 個々の断層についてどう評価してるんすけど言われたことに対して、
1:17:27	防犯の話をしたんですか。
1:17:31	そこがおっしゃるように574とかでデータの、
1:17:35	整理をしているんですけどもそういう社会ごとのコメントの関係性とち よっと今わかりにくくなってるのは事実ですので、
1:17:42	そこを
1:17:44	前段の方である程度整理して、
1:17:46	そういう経緯も踏まえてこうしたっていうのが、最初の方の評価補償に 出てくれば、
1:17:51	いいの何か欲しいっていうよりはここの評価の中でちゃんと取り込ん で、
1:17:56	うん。
1:17:57	いろんなことでもう一度データも含めて有識者にはこういうふうに評価 されたんだけど、北陸電力としては新しいデータも含めて、どういう評 価結果として考えてるのっていう、有識者が言われたことに対してはど う反応するのと。
1:18:13	はい。個別の有識者の時に見せたデータに基づけば、有識者の通りです という立場なの。
1:18:22	全然わかんないんだよね。どう考えてる
1:18:31	個別で見たら有識者に対するのはいい見解に対して反論することができる のできないのかわかんないし、いやだから鉱物脈なり他の追加データを 踏まえれば、
1:18:43	入社の方月については明確に否定できるなのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:48	もしくは融資です、有識者の時に見ていたデータだけでは判断できないけど、追加データを合わせれば、有識者が見たときの判断についてもここ、こっちとの整合性を考えればこう考えれば合理的と考えてるのか。
1:19:01	どういう考えなんですか。
1:19:06	北陸電力藤田です。
1:19:08	ここの評価についてはそれぞれ
1:19:12	例えばS26ですと、
1:19:15	203ページ。
1:19:17	例えばですね、S26ですと203ページから、
1:19:20	薬の評価とかそういった形で、あるんですけども、その前段に、
1:19:26	今、内藤さん、確認いただいた内容でいきますと、勇者介護で示していたデータがこうあって、
1:19:35	それに対しては逆に多いような鉱物脈をメインにした鉱物脈で公団がスタートした上で、その他のデータっていうのを有識者時に出してデータも含めてどう評価するんですか。
1:19:47	そこまで、そこを今ちょっと書ききれてない。
1:19:52	そこしっかりわかるように、個別の断層ごとに、少し、
1:19:58	前段の資料として、入社会合のときの経緯なりデータというものに対して、我々がどういうふうな、
1:20:05	データがあってどう拡充して、どう評価したかってのがわかるように、
1:20:09	少しデータありますんで再整理した形で、
1:20:12	ちょっと後ろの方にまとめて表現したところがありますんでそれを前の方に少し持ってってですね。
1:20:18	一つの断層についてそういった時系列なりデータの経緯がわかるようにちょっと整理。
1:20:23	次にちょっと検討したいと思いますがいかがでしょうか。
1:20:26	いやだから、だから125番の通りコメントしてるわけでしょ。
1:20:30	これは、
1:20:34	わかりました北陸電力藤田ですけどもそれを少し最後の方の整理するような形でまとめてしまったというのがちょっとまとめ方の末上がったのかなと思う。そこは
1:20:45	今の確認事項を踏まえて、しっかり我々も検討して、各断層ごとにわかるように整理していきたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:53	はい。佐瀬北陸電力吉田ですすみません、都産1点確認させてください。
1:21:00	入社介護の評価ですね、どれ鹿野サイトの評価っていうのは、
1:21:05	再最後に今後の課題6項目ってのが出てその中に鉱物学がありましたけども、そこに至る前に例えばS1であると、岩盤調査坑の丸薬とかって、1個1個のデータが入社の知見というのが出ましたので、
1:21:19	そういう、今後の課題6項目だけではなくて、入射断固後の貯水池、入力個々の、
1:21:24	評価について、もし今のあれの評価と違う評価。
1:21:28	今日もありますので、そういったことに関してしっかり、今後の課題で迷惑を取っただけではなくて、入社介護の個々の反応について、しっかり今まで評価するという、そういう解釈。
1:21:40	よろしいですか。
1:21:41	そういった資料であれば、今まで出しておりましたので再度しっかり整理してですね、今後の課題の6項目だけではなくて、入社介護のところの評価についての見解を整理したいと思います。見解をすでにできるのを、追加データで取ったことによって、
1:21:56	いや有識者の判断した時、終わってます。
1:21:59	で、追加のデータが出てるので、こっちが正しいんですってみんないえるんですか。
1:22:05	だって今まで説明を受けてる追加データだとそこを、
1:22:09	認識者は伴のところで反応するデータとれてるものってほとんどないんじゃない。
1:22:16	だからどういうまとめ方するんですか。
1:22:24	そう的な説明を取り違えてるような気がするんだ。
1:22:28	全体をまとめてっていう総合的じゃなくて、
1:22:31	いろいろ、個々の断層についてデータがいろいろあって有識者の時ほどデータもあるしそれ以降にとったデータもあるし、
1:22:39	ある中で、それらをどう総合的に活動性の評価としてるんですかってのをきちんところの断層について書いてくださいっていう趣旨なんだ。
1:22:53	北陸電力の藤田です。
1:22:56	最終的なこの活動性の評価に、必要っていいですか、
1:23:01	判断に関連するものをしっかり整理してですね、そういったデータを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:06	さっきからね判断に使わねえとか言ってんだけど、使わないっていうところで有識者のところではそれ使ってるわけでしょ。
1:23:13	で、見せ介護のところでも皆さんもそれで判断できるって新しくなるわけでしょ。
1:23:24	それらも含めて、新たに取った鉱物脈法も含めて、どう判断してるんですか。
1:23:34	劣後はないんでしょうか。
1:23:37	尾田です。ちょっとSDSロックを例にとってちょっとお話しさせていただきますと、入社介護の時はNo. 2トレンチで、あそこで上載地層にずれがないので、
1:23:49	S2S6は活断層ではないと、我々こういう説明をしました。これに対して、ニューシャ介護の方では、上載地層が、層理が傾いて見えます。
1:24:01	なので変形をしている可能性があるのですが、住みやすROVについては、活断層の可能性が否定できないと、こういう指摘を受けましたと。
1:24:11	それに対して、さらに勇者介護の方は今後の課題として鉱物脈等のデータ拡充が、今あるデータでは判断できないので必要だと、こういう整理をされましたと。
1:24:22	それに対して、まずは上載五分済み額は我々、とって3ヶ所ぐらい追加をしてそれで最終的な評価はします。ただし、層理の傾斜につきましては今、再度、
1:24:34	データを見直して、しっかり整理してみるとこういう形で、これは活断層ではないということと矛盾しないんだということがわかっておりますと。
1:24:45	この形がちょっと時系列とか順番に整理されておれば、今いいのかなというのを、何つうのお話をして、感じたんですけどそういう形でちょっと時系列的にこう並べるようなことで、並べるようなことか。
1:24:59	整理するような形でよろしいでしょうか。
1:25:01	時系列的とかそうし、今まで取れてるデータでこういうふうに言われたら、こうですって話。
1:25:08	新しいデータを含めて考えたらこうですって話になるんだけど、じゃあ、SESどこの話はね、変形を受けてる可能性があるって動いてないんだけど変形してますよねって言われてる話じゃ鉱物脈法で動いてないからいいんですって。
1:25:24	東主務で動いて、表面まで動いてないんだけど、傾斜してるんですというふうに有識者が言うてることに対して答えになってるんですかそれ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:36	それで変形もないんだよってということは、茂木首相はもう、
1:25:42	だって、変位はないけど変形がありますって言ったんだ。
1:25:48	鉋物脈法で、変位がないことを確認しまして、有識者だって変位がないってことを認めたんじゃない。
1:25:57	円形で、だけど変形はあると考えるべきじゃないですか。
1:26:04	なぜなら、エスワンが動いてるからです。
1:26:09	エスワンが海近い側については動いてると考えてるのが、
1:26:14	合理的な結果しかないからであればエスワン単独で動くってことはないからSBSの工藤動いたことによって諏訪の一部が動いたんです。
1:26:23	うん。
1:26:26	結論なんですよ。
1:26:31	三角は単独でできない。
1:26:34	笹さんもできるの。
1:26:37	北陸電力藤田ですけども、
1:26:40	当時の入社介護の時の評価がどういうデータに基づいて、S1の北西部の活動に伴って実に6の話に展開されてると思いますので、そういったS12の基本的なデータがまずあって次6の話ができると思いますんで。
1:26:54	そういった過去のそういった、
1:26:57	伊勢看護師の判断に用いられたことを少し、因数分解ですねそれに対して我々どういうデータが取れてるからこういえるんだっていうのを整理して、整理していきたいと思います。
1:27:08	言えば、直径で返してるんだったら直球で返して欲しいけど、多分直近で返せないものもあるだろうから、いやそれはどうやって返すのかっていうところに転換がよくわかんない。
1:27:21	そこはよく整理してもらえませんか。
1:27:23	はい。別に6の今の辺、変形の関連につきましても我々基盤の標高の高さですとか、いくつかこういった追加のデータも取ってますね、今までご説明してますんで。
1:27:34	そういったものとか関連するものを整理して、丁寧に、入社会合からの、
1:27:39	背景、一つずつ確認しながら、資料作っていききたいと思います。以上です。
1:27:47	だから、よくそこ整理してくださいSNSロック。
1:27:51	ほう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:27:52	R I S 湾との関係はそれぞれの単独の断層での評価ではない。
1:27:58	はずですよ、有識者の。
1:28:00	結論は。
1:28:01	それがもう取り入れた形で、どうやってそれぞれが活動性がないんですって新しいデータも含めると、古いデータは、融資者が言ってることに對して、個別のところでは反論できるんですかできないんですかってことも、
1:28:15	含めて、今の資料読んでてもよくわからない。
1:28:22	今の首藤土肥や有識者をこう言ってましたけど新しいデータを見れば、有識者のデータはなしにしてもこれだけで判断できるからいいですって言うように見えただけどそれはないでしょうと思うんだけど。
1:28:37	北陸電力伊田です。今回の少し審査ガイドに基づくような少し整理に重点を置いた整理になってて、
1:28:47	最初、最後の方にちょっと言う社会事の、
1:28:49	課題との関係性というふうに、
1:28:51	ちょっと整理。
1:28:53	端的にちょっとしてしまっただけ感じなので、今、確認いただいて、それ有識者に対して飯塚委員、有識者だって基準とガイドを見た上で判断してるわけだよ。
1:29:04	おっしゃる通りです。はい。
1:29:08	いずれにしても当時の評価された背景、たに對して我々が直球で返せるようなデータあれば、いろんなものを複合的に評価して、
1:29:19	そうではないとか或いはその通りだということを示すような形で整理してですね、再整理したいと思います。
1:29:26	だって新しくとってない、取れないものもいっぱいあってさもうスケッチ年古い写真でしか評価できないものがいっぱいあるんだからそれで直球で返せるとはとても思えないからさ、その辺はどういう考え方で、有識者の時は判断については、
1:29:41	どう、どう返すのっていうのも含めてねよく整理してくださいよ。個別の断層について、
1:29:48	はい。北陸電力の吉田です。内藤さんのおっしゃる通りでですね、融資者会議の時はS1とS入力2本の断層について評価されました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:56	例えばS入力につきましては、岩盤下水入力の宮川高井と地形と、弾性が高いという評価が倉島出されましたが、それについては特定の断面です。
1:30:08	断面でしかありませんでした。その後我々は面的に地形とかがん線のデータを、面的に出して、そういった傾向はないっていう、その後の追加のデータを示したのもあれば、
1:30:18	例えばS1-9トレンチみたいに、もう今は抱きもんですから、あれは断層だと、あとは堆積だと、二分しましたんで。
1:30:26	その結果、その結果についてはいろいろ実験とかその後間接的なデータを補強しましたがあくまで間接でしかありません。それにつきましてはそういったものに関しましては、その付近でとった。
1:30:37	地下の鉱物脈のデータ。
1:30:40	という形で、旧トレンチで議論になりましたが、その付近の地下の鉱物脈データ、
1:30:44	お話をさしていただく時は、そういう形で、その後勇者介護以降にデータを追加して反論できるものあれば、有馬となってもやはり、ものがないので反論できないというものもありますので、それもはっきり。
1:30:57	整理へのさして。
1:30:59	で反応今できないものはどうするの、どう評価するのかという形も、
1:31:03	また
1:31:04	考察も必要かと思しますので、
1:31:06	そういう形で、次お願いします。で、S4をねさっきの話だと城さん所も、
1:31:14	鉱物脈だけでって言ってんだけど、じゃあ昔使ってた上載地層法のやつはどうすんのっていうのもさ、宙に浮いちゃってですね。
1:31:25	だから、だから過去のやつに僕再観察できないしスケッチと写真しかないやつも含めて、新しく取ったやつも含めてその整合性を各整理した上で総合的にどう評価するのかっていうことの、
1:31:41	をきちんと上條2の記載してくださいねって言うてるわけだから。
1:31:48	はい。わかりました。これ、わかりました。その578ページ579ページを見ていただきたいんですが、実は我々もそういった意思意図を持って今回求めて、おつもりなのでまず
1:32:01	清勝田は教わりない、ないのであれば少し説明を補足させていただきますと、578ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:06	これにつきましては先ほど 37 ページで説明しましたように、まずは、現在、現存してですね、物をしっかり見てもらえる上載地層法のデータ、あとは、鉱物脈に関してもしっかりうまく横断するデータ。
1:32:19	そういったものでしっかりそれをメインの根拠として評価していこうというのが、基本的な考え方でそのデータは 570578 ページに示す、この水色と、
1:32:31	黄色で示すデータです。
1:32:32	ただし、この絵でいう左右下ですんで、先生に書いた通り、今までデータをそれ以外にもデータを取っておりました。それがですね 579 ページの、
1:32:44	緑の網かけです。基本は下の五番、六番、現在確認できるデータでしっかり評価しました。これは 578 ページです。ただし 578 ページの、
1:32:55	下の矢印がありますが、ただし、そういった昔のデータについても、
1:32:59	今しっかりですね、再評価をして、S A に活動性がないという、
1:33:05	評価に対して、しっかりチェックしようというのが、579 ページの緑の表でですね、米国のデータが補足資料にまわしておいて、一番右の黄色の網掛けのところに、
1:33:17	現在の結果とも整合するということを書いて、
1:33:20	全体ですね、昔のデータを、
1:33:23	再評価しても、
1:33:25	578 ページの評価と、そうです。
1:33:30	ナイトウですけど、これはちなみに、
1:33:33	昔のデータはこうですじゃないでしょって言って、
1:33:40	昔のデータも含めて、
1:33:43	新しくとったデータも含めて、
1:33:47	国のやつをどう評価できていて、総合的な判断としてどう評価するんですかっていう、断層の評価、個別の断層の評価をやってください、書いてくださいと言って
1:34:01	北陸電力藤さんですけども、ここのデータの評価っていうところの確認なんすけど今例えば、
1:34:08	35 メーター、坂刀禰字で、
1:34:11	上載層までちょっと到達していないっていう事実 500 七つの水色の網掛けの評価に対して、
1:34:17	579 の緑の網掛けの S4 トレンチ、これ過去の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:22	現存しないトレンチですけどもそういった上載層同士の関係性とかそういうことで、今回の上載地層法の評価はどうなんだとかそういう。
1:34:31	ところをイメージした確認。
1:34:33	ノーコメントなんでしょうか。
1:34:35	それできる。
1:34:37	できるんだったらやって欲しいけど、いやもうないからできないって書いてるんじゃ、皆さん
1:34:44	上載層の上載層の年代が特定できないって書いてる、そういうことですよ。ということは 579 にあるデータも 578 の中に、一旦上げてですね。
1:34:55	それぞれのデータを見るとこう評価しますっていう形載せるのが、
1:35:01	今の確認事項にあったような整理になるというふうに理解しましたけども。
1:35:05	いや、だからさ、SO に関して言えば昔の上載地層でやったデータがありますスケッチ写真あります。
1:35:13	35 円版で撮ったトレンチの結果があります。でもこれは、
1:35:26	上載相当コンタクトがあんまりは、
1:35:29	半分は
1:35:31	はっきりしないので、これで単独で決められません。
1:35:35	あとは、鉱物脈で取ったものがあります。これは皆さんの資料だとするとしては、明確に切っていると判断できます。その三つのデータなんだよね。その三つのデータを、
1:35:48	考えたときに、どれを判断。
1:35:52	主たる判断の根拠とした上でそれ以外のやつについては、そしたらOKと矛盾するの矛盾しないのどうなのっていうことを、しっかりと評価してくんねと。
1:36:03	いや昔だったらデータないものにするかのこと書かれたって思っちゃううちだって、
1:36:24	内藤さんの確認事項については、
1:36:30	趣旨は理解したつもりなんですけど、
1:36:36	おい。
1:36:38	あ、すいません織田です。今、578579 でS4 のデータ入ってるんですけども、ここら辺りが我々も昔とったデータをなかったものにするつもりは全くないんですけども、そこもしっかり

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:56	当時の評価がどうだったのかそれ、どういう指摘を受けてたのか、今新しいデータとしてどういうものができたのかそれらを総合してどう判断してるのかっていうその辺りをしっかり明確に。
1:37:08	今最終的に使ってるものだけをこう書くのではなくて、同列でしっかり並べてか、記載をするようにと、評価をするようにと。
1:37:17	そういう趣旨だと理解してよろしいですか。
1:37:20	そうです。
1:37:22	わかりましたそうしましたらちょっと昔のとったデータを少しちなみになっていうような形で、表、評価してみたのみ、179で緑で書いてますが、
1:37:32	ここらあたりの記載の仕方を少し工夫していきたいと思います。
1:37:38	活動性評価としてはそうだって前のところで活動性評価といって決めちゃってるんでしょう。
1:37:44	でもこの工数がよくわからん。
1:37:46	500ページのところ行ったけど、ちなみに昔のデータも入れてるそうです。
1:37:51	それはおかしくないですかって、まず構成として、
1:38:05	確認の内容、理解しましたので、資料の再生で行いたいと思います。以上です。
1:38:10	はい。お願いします。
1:38:18	はい。規制庁のカイダです。
1:38:20	今のお話の中で、私もちょっと確認しようと思ってたところも少し入ってたんですけども。
1:38:28	今回用いないというふうにしたデータでもすでに申請書の中では、
1:38:34	今のちょっとお話出た損S4トレンチですか。
1:38:37	そういったのも出てくるっていうわけで、
1:38:41	それはそれはそれでちゃんと
1:38:43	次に、もうなくなっちゃうんじゃないかってそれぞれ残った上で、
1:38:48	それを踏まえてどうだっていう説明が今後なされるという、
1:38:52	というふうに今のお話を聞いて、
1:38:56	思ったんですけどもそういった考えでよろしいですか。そういった方針でいかれるということで、
1:39:04	北陸電力藤田です。過去のデータも含めてということですのでそういった整理の仕方したいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:11	はい、わかりましたじゃあ、規制庁からわかりました。なので
1:39:16	ということで今ほどお話あったように、今まで出たデータっていうのが 整合的に攻め説明できるような、
1:39:23	ということで今後の資料も構成していただきたいので、
1:39:27	すでにふくそうしますっていうふうには先ほどおっしゃってたんですけど もちょっと。
1:39:32	念のための確認でした。
1:39:35	で、ちょっと、引き続き次の話に入っていきたいと思うんですけど も。
1:39:42	またちょっと初めの方からの話で、
1:39:47	コメントの一覧があっ、
1:39:51	何ページ
1:39:53	6 ページですかね。
1:39:56	ちょっと
1:39:58	今回、コメント回答っていう資料位置付けの資料なのでちょっとそうい ったこともあるのかなとは思うんですけども。
1:40:07	例えば
1:40:10	コメントの 100、
1:40:13	21 番ですか。一番上の。
1:40:15	目視レベルでも、
1:40:17	こういったものは確認します。
1:40:20	してくださいというところで、110。
1:40:24	何ページだと、3 ページ。
1:40:27	例えばですよ。発災、
1:40:31	破碎部中の鉱物脈というところでこういうのがありましたっていうのが 113 ページ以降、
1:40:39	紹介されてるんですけども。
1:40:43	結局、こういったのが、
1:40:47	評価にどう扱われたかっていうのが、
1:40:51	この資料だけではちょっと、ちょっとわかりづらくてですね今の、
1:40:57	特に肉眼で観察できる鉱物脈っていうのが、
1:41:01	の説明が 140 ページで
1:41:03	データ集みたいな形で終わってて、
1:41:06	結局じゃあこの鉱物脈みたいなのがあって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:10	最新面ではないながらも、
1:41:13	例えば破砕部の中は、
1:41:15	動いてないっていうのは少なくとも確認できてて、
1:41:20	それは、
1:41:21	最終的に最新面で、
1:41:24	評価した。
1:41:26	結果と整合的であるとか、そういったところもわからなくて、
1:41:32	破砕部でこういうものが認められましたという、
1:41:36	のが書かれてるのちょっと、
1:41:39	それが今日評価にどう生かされたかっていうのがなかなか資料から読み取れないんですね、他のやつも。
1:41:45	同じで。
1:41:46	例えばさっき S2S6 の話も、
1:41:49	S E S6 を、断層を挟んで、こういうシュミットネットを、
1:41:55	が描けましたっていうのが、
1:41:58	近傍とその外側では違いませんでしたっていうのが、
1:42:03	105130
1:42:05	6 ページで、シュミットネットのかな。
1:42:08	船とかシュミットネットで終わってて、
1:42:12	結局この辺のデータが結論になど、
1:42:15	使われたのかとか、結局
1:42:18	言っていたきたいのは山側に傾斜してないっていうのが、
1:42:21	こういう観点こういう観点こういう観点で、
1:42:24	確認できましたっていうの一つとして、これがあるのか、っていうのも、
1:42:29	ちょっとよくわからないので、ちょっと資料のコメント回答ということでコメントに回答した。
1:42:36	だけで終わってるようなところもあるんですけども。
1:42:39	少なくともこういうのが、
1:42:43	評価にどう生かされたかとか、中にはひょっとしたら、
1:42:46	コメントをした中で、全然役にも立たなかったっていうのがあるかもしれないんですけども、それは、
1:42:54	そういう評価だっていうところも、
1:42:57	示していただきたいなと思うんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:00	これ資料構成の話なのか評価の、
1:43:05	の仕方とか方針に、
1:43:06	両方に関わってくると思うんですけども、その辺わかるように、
1:43:11	次回説明いただきたいんですけども、よろしいですか。
1:43:17	はい。北陸電力の野原です。今ほど言われました通り、これがどういった趣旨で、
1:43:25	行ったもので或いはその結果をどう評価に使ったか、そういったことがわかるように資料の方見直したいと思います。以上です。
1:43:39	はい。規制庁の改善。はい。そこはぜひともよろしく申し上げます今1例として、二つぐらい挙げたんですけども。
1:43:48	他のやつも一緒なので、
1:43:51	同じような目で見て
1:43:53	結局どうだったのかっていうところを、がわかるような、
1:43:59	説明をしていただきたい。
1:44:01	のでよろしく申し上げます。
1:44:04	引き続き、変色
1:44:17	と、
1:44:23	ちょっとちょっと細かい話で、今の、
1:44:28	今の
1:44:30	話がちょっと出た。
1:44:32	破砕部の話。
1:44:33	肉眼の破砕部の話なんですけど、
1:44:37	134 ページとか 130。
1:44:43	8 ページあたりですか。
1:44:49	結晶構造の判定でこうでしたっていうのが
1:44:54	ちょっと言葉だけで書いてあるんですけども。
1:44:58	他のページとか見ると、
1:45:01	引用してる文献のグラフみたいなのが出てて、
1:45:06	こうですみたいなのも書いてあんですけどここもちゃんと
1:45:11	他のんなんですか、グラフと。
1:45:13	対比してこうこうですみたいなのが、
1:45:16	できるのであれば説明いただかないと。
1:45:20	結晶構造判定だとこうでした。一言だとわかりづらいので何かその辺りも追加いただけますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:45:30	北陸電力スモリです。
1:45:32	今ほど、患者さんご指摘いただきました 134 ページ、138 ページですけれども、こちらの右方にございますように再掲という形で、
1:45:41	前回の資料ですと同じように
1:45:44	図にプロットしまして、
1:45:46	入れて今月何%というようなわかるようなものも併記しておったんですけども、これにちょっと持ってくるにあたって
1:45:52	そこが離れたような形で示し申し訳ありませんでした。こちらについてもその図と対応でちゃんとわかるような形で改めて整理させていただきます。以上です。
1:46:06	はいカイダです。じゃあ、よろしくお願いします。
1:46:09	2 点なぜ今回追加になった 466 ページあたりも、
1:46:14	これも 2、同じような話かなと思いますので、
1:46:18	よろしくお願いします。
1:46:21	それで引き続きなんですけど、
1:46:28	例えば、今回追加
1:46:31	切り合い、
1:46:33	薄片でちょっとわかりづらいところがあるので、
1:46:36	追加しました。
1:46:38	ていうような削り込んで追加しました。
1:46:41	ていうのがいくつかあったかなと思います。その辺のことにに関してちょっと何点か確認なんですけど、
1:46:51	例えば 309 ページ。
1:46:56	見ていただきますと、これ
1:46:59	R が 8.1-1 の、
1:47:04	一番 1 の 2 項、これが新しく、
1:47:08	やりましたっていう、
1:47:10	ところかなと思います。
1:47:12	その前のページとか見ると、
1:47:17	2978 ページとか
1:47:20	S5 で言うと、
1:47:22	参考の資料の方が先に、
1:47:26	アイホンさんってやつが、参考のほうが出て、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:31	先ほどの話でもあったんですけど評価に使いますってやつの方が後に出てきちゃってんですけど、302 ページ以降ですね。
1:47:39	これあの、
1:47:41	逆だと思うので、使いますってやつを、他の、
1:47:45	断層もそうだと思うんですけども、使いますっていうのをちょっと先に持ってきた方が、
1:47:51	わかりやすいのでその辺はよろしくお願いします。
1:47:56	以下、よろしいですか。何かもし意図があってこれ、参考の方が先なのかっていうのがあればちょっと。
1:48:02	もしそうでなければ別に元にも、これ入れ替えていうのあるかと思うんですけどいかがでしょう。
1:48:10	北陸電力津守です。まず意図としましては、301 ページをお願いいたします。
1:48:18	301 ページが、参考としましたRの 8.1-1 の3項のご指摘を現地調査でのご指摘いただいたページになるんですけども。
1:48:28	このページでのご指摘をいただいてこれに対して追加調査を行う、追加の観察を行ったと。それで次のページが、そういう観察結果ですよというこの流れがわかりやすいかなという意図で、
1:48:39	この順番にしておったんですけども、今ご指摘いただいてましたように、最終的に評価で、メインの根拠として使っている、R8.1-1 の2項、こちらが前という示し方も、
1:48:51	メインがどれかという観点でわかりやすいと思いますので、池田さんご指摘いただいたように整理させていただこうと思います。以上です。
1:49:01	はい、わかりました。よろしくお願いします。
1:49:04	それと先ほどちょっと、
1:49:07	309 ページで今回新しく、
1:49:10	取ったやつの、
1:49:12	鉋物が何かっていうのが、イライトスメクタイト混合層と判定したっていうの。
1:49:19	よく見ると
1:49:22	これはある。
1:49:23	8.111 の2項ではなくて、参考のやつっていうことで別の、
1:49:30	ポーリングっていうか、別のポーリング孔のやつを使って、
1:49:37	評価されてると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:39	よくよく見ると、他の断層も、
1:49:42	茂呂そこの薄片とったところの、
1:49:46	サンプルじゃなくて、隣接校から取ってきましたっていうところ。
1:49:53	のが結構あるんですけども。
1:49:56	これっていうのは、特にこの例えば 309 ページとかでも、隣接校。
1:50:02	持ってきましたっていうのはあるんですけど、同じもんだっていう説明 っていうのは、
1:50:06	今までどっかでされてたんでしょう。近くにあるからもう当然同じ、し かも同じ断層と判定してるから。
1:50:15	そうなんだっていうことなのか、何か。
1:50:18	別項から取ってきてるんだけど、その脈自体も一緒だっていう説明って いうのは、今まであったんでしょうか。
1:50:27	はい。北陸電力の津守です。その次はですね 48 ページをお願いいたし ます。
1:50:39	こちら敷地で確認される変質鉱物の詳細ということで、敷地で実施した XRD分析年度主年度分の週ですね、を行ったものを、左の位置図です とか、右の一覧表にまとめたものになっておりますけれども。
1:50:54	このように敷地の、
1:50:56	いたるところで、陸域会議、各断層ですね、粘土部がやはり物によっ ては、少し寮費が少なかったりというところもありますので、今年度分 の週の、
1:51:06	XRD分析を行おうと思うと少し年度量が足りないのですべてできるわ けではないという、
1:51:11	ところを踏まえまして、割れ目ですとか破碎部、こういったいろんなと ころで採取しまして、いずれも同じようなイライト混合率を持つ、スメ クタイト今後そうだとすることを、
1:51:23	53 ページの方に、
1:51:26	括弧で確認してございます。
1:51:28	こういった結果を踏まえまして敷地の方で認められる粘土鉱物、もちろ んその、
1:51:33	小穴 200 円というところの観察結果というのもあわせて見ておりますけ れども、これ分析結果としましては、
1:51:41	こういう年度分を取れるところで行ったもの敷地内の陸域会議の、破碎 部やその周辺の割れ目こういったところが、いずれも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:49	同じイライトスメクタイト混合層ということを確認できております。こういうことの結果を踏まえまして、今ほどの 309 ページのように、隣接校の結果を、
1:52:00	展開しているという形になってございます。
1:52:02	またですねそのピンポイントという形で言いますと、次の 310 ページでは、この R8.1-1 の 2 項の、もう薄片そのもので E P M A 分析を行いまして、
1:52:13	この三角ダイアグラムで、イライトスメクタイト混合層と同定できると、こういう結果もあわせて示しております、
1:52:21	農集の X R D 分析は粘土部によって、やれるところやれないところございますが、敷地の中ではいずれも同じような結果が出ていると。
1:52:29	ということからこの X R D 分析の結果を使っております。
1:52:34	以上です。
1:52:37	はい。規制庁の甲斐です。
1:52:39	一応、
1:52:40	今ほどご説明いただいたのは、再掲とか一部修正ということなので、
1:52:47	過去にそういう説明があつてのことだということは確認できました。
1:52:51	ただちょっとですね
1:52:53	例えばその 309 ページの、ここで取りましたっていう写真がこれナンバーなんか写真あるんですけどナンバー何、何行かとかっていうの。
1:53:02	わかんないですし、例えば、
1:53:05	他の S7 だと、325 ページですか。
1:53:09	これに立ってあそこの写真があるんですけど、深度もわかんないし、ナンバー何個。
1:53:15	かもわからない。
1:53:17	とか、あと、
1:53:20	160 ページこれエスワンなんですけど、写真は出てて植野氏、
1:53:25	説明書きを見ても、
1:53:28	別個同一断層の別個。
1:53:31	その中に岩盤調査坑 No. 27、No.7-1、No.16 っていうたくさん出てくる中で、
1:53:38	この写真が一体何なのかとかも、
1:53:41	ちょっとわかんないんですよね。で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:44	こういったのを載せてここで取りましたっていうふうな、説明をしていただく以上はここに出てるのが、
1:53:52	何なのかっていうのを説明っていうのは、ちゃんと示しておいていただきたいんですが。
1:53:58	よろしいですか。今、
1:53:59	他のところも全部そうなんですけれども、
1:54:03	よろしいでしょうか。
1:54:05	北陸電力津守です。
1:54:08	向井さん言われた写真に、
1:54:11	は左下にあります。いわゆる農集ではなく通常のXRD分析を行った資料の最終位置を示しておりますが、今ご指摘の通り、
1:54:21	この資料がどこなのかというところがこの写真だけ見てわかるような形になってございませんので、今言われますように、資料の方にその部分反映して、改めて、
1:54:32	お示しさせていただこうと思います。以上です。
1:54:37	はい。
1:54:38	わかりましたカイダです。
1:54:39	よろしくお願いします。
1:54:41	あと引き続きですね今回ちょっと、
1:54:46	説明ぶりを、
1:54:48	変えましたみたいなのところがいくつかあったかなと思います。
1:54:52	例えば155ページ。
1:54:56	とかで、
1:54:57	上の、
1:54:59	書き分
1:55:00	紫で書いてあるところで箱書きの中で、
1:55:04	最新面を出して、
1:55:07	分布します。
1:55:08	こういったのが他のところも結構、その部分の書きぶりが、
1:55:13	結構変更になってまして。
1:55:18	300、
1:55:20	4ページをぱっと見ても、
1:55:23	341ページのS7だ。
1:55:27	でも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:28	同じように、書きぶりが変わって最新面を横断して分布し、
1:55:33	これ以前は広く粘土鉱物が分布して最新面が不明瞭になってるっていうような書きぶりで、
1:55:40	再観察をしたとか、
1:55:43	おなじ資料のものでも、結局、こういった書きぶりが変わってるんですけれども。
1:55:49	以前はどう。
1:55:51	これ評価が変わったっていうことなんです。前川さん。はい。すみません。どうぞ、野原です。
1:55:57	すみません
1:55:59	んじゃないですけどがずっと本店が、ご意見ない状態になってましたので、もう一度、
1:56:09	前回いただいてよろしいでしょうか。
1:56:11	規制庁ですけども、今は聞こえますか。
1:56:15	はい、稲垣です。わかりました。今、ちょっと今そちらがおっしゃった言葉もですね少し今とぎれとぎれなので、
1:56:24	ちょっとうん。ひょっとしたら回線の状態が悪いかもしれないですねちょっと。
1:56:35	とりあえず
1:56:38	はい。ちょっと比嘉、ちょっとさかのぼってなんですけども、341 ページ。
1:56:45	とかで、
1:56:46	紫色でAと書いてあるところ、今回書き換えましたっていうところなんですけれども。
1:56:53	最新面を、
1:56:55	有無、粘土鉱物が横断してますっていうのははっきりと表現しました。
1:57:00	っていうところなんですけど、以前は、そこは粘土鉱物が分布して最新面が不明瞭になってたっていうような書きぶり。
1:57:08	だったと思います。他のところも結構、
1:57:12	他の断層もそういった書きぶりに変更されていて、
1:57:16	同じサンプルで、
1:57:18	見直したところとかあと新しく作った資料もあると思うんですけれども。
1:57:23	同じ資料で、こういった

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:26	評価が変わったようにも見えるんですけども。
1:57:30	これは評価が変わったんじゃなくて何か表現ぶりの修正だけっていうことなんでしょうか特にここ。
1:57:36	こういうふうな。
1:57:38	明確化してくださいというようなコメント。
1:57:41	こうしてったかというところでもなかったと思うんですがちょっと確認です。
1:57:47	ピーク電力スモリです。
1:57:50	この記載の変更の1としまして、これまでは同1面付近に広く、粘土鉱物のうち、市民が不明瞭な不連続になっておると。
1:58:01	ような記載。
1:58:02	うん。今の。
1:58:03	41 ページの下に5ステップ
1:58:10	規制庁でちょっと1回画像を落としますねなんかやっぱり少しとぎれとぎれになりますので、
1:58:19	配当いたしました。
1:58:22	ベルフェイスをせております。四番。
1:58:26	はい。大丈夫です。
1:58:30	説明続けさせていただきます。
1:58:33	これまでですと、最終的に広く分布して支援が増えるが不連続になるという車両をしておったんですけども、今回エンド鉱物最新情報安心し、
1:58:43	最近1億円となってくるというふうに記載を変えていく。
1:58:47	どっちかっていうのは、ご指摘いただいて、
1:58:50	理事からご指摘いただいた。
1:58:52	点ですが、
1:58:54	元が不明瞭で、明確にご存知ようには見えない部分があるというような声いただきまして、
1:59:01	そういった観点で、これまでの経緯を考えると、
1:59:04	そもそも正しい面を、どういう気合い関係どういう関係になっているかというところが、10分説明できていなかったなっていうところで、
1:59:14	どんどん1人でも、
1:59:16	明確に関係がわかるというふうに示すために、横断という表現を使っております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:24	ですので表現は変わりましたが、もともと考えていたもの。
1:59:29	耐震と建築物の関係で古賀の評価結果が変わったということではなく、
1:59:35	あくまでもそこ切り関係を明確にその資料として結として示した。
1:59:39	いうのかな、そういったものでございます。以上です。
1:59:45	はい。はい。規制庁のカイダです。
1:59:48	これは特に、
1:59:51	評価が変わったんじゃなくて、記載の明確化ということ。
1:59:56	だということで、認識しました。
2:00:00	で、
2:00:03	引き続き、
2:00:05	福村断層との比較っていうところでの確認をさせていただきたいと思うんですが461ページをお願いします。
2:00:13	ここで、
2:00:16	これ何で重要かっていうことは前回の審査会合でお話をしたんですけども。
2:00:22	そもそも
2:00:24	鉤物脈法っていうのがここで適用できるんかどうかっていうのの検証に必要なだということで、福良断層だったら、
2:00:32	何かすぱっと切れたりとか、
2:00:35	全然違うんだろっていうところを示し、
2:00:38	いただかないと。
2:00:39	鉤物脈法、敷地内のやつが、
2:00:43	こうですよっていうふうに、
2:00:44	説明があっても、ちょっと比較対象がないと。
2:00:48	難しいというところでの
2:00:51	モンシュシュでの指摘でした。
2:00:53	そういった意味でこの461ページの変質こうべ物との関係というのが一番下にあって、
2:01:01	これ
2:01:03	粘土鉤物に変位変形を与えてない方や、福良断層の方は変位変形を与えているというところ。
2:01:10	その違いっていうのがちゃんと示されているかっていうのが大事なんですけど。
2:01:15	472ページにそこで飛ばしてあるんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:01:19	472 ページに、何かその辺りの、
2:01:23	そこを見て、
2:01:27	片方は、片や、
2:01:31	粘土鉱物を切ってて、笠谷切ってないっていうのがこのページを見てなかなか、
2:01:37	わからないんですけども、もうちょっと何か他のページで、そういったところが説明してあるんでしょうか。
2:01:47	北陸電力驚見です。
2:01:49	461 ページの表でイーグル 72 ページに飛ばしているところです。
2:01:55	イライトスメクタイト混合との関係を確認を行った。
2:01:59	100 円ではなくてその右側の、600 円。
2:02:04	出られる高さを 570 に飛ばしておまして、
2:02:09	ピンボード組織だと。
2:02:11	ぜひ、イライトスメクタイト混合層との関係っていう観点。
2:02:14	うん。
2:02:15	フィーバーについては、
2:02:16	その下段に 465 ページから 471 ページという形で、
2:02:21	郵便番号観察計画的に、
2:02:23	渥美平子があります。
2:02:27	ですがそれでもこの幅を持って、このページに示しておりますので、もう少しわかりやすいように、
2:02:36	権者の飯泉と今後の関係が直接わかる伸びるという形で、1 ページを飛ばす距離を少し修正させて、
2:02:46	はい、規制庁の甲斐ですちょっとあの、そうですね表の見方が少しわからなかったんで、もし工夫できるなら、
2:02:54	もうちょっとわかりやすくしていただきたいのと、
2:02:57	あと
2:02:58	今ご説明あったんですけども、
2:03:01	今ほど、460 何ページから 70 ページとかを見ると、
2:03:06	ここに複合面構造があります。ありませんというのと、あと、
2:03:15	層状構造のありなしみたいなところ。
2:03:18	は書いてあるのは目につくんですが、
2:03:23	今ほどちょっと確認したかった変質鉱物との関係で、変位変形を与えてるかどうかっていうのを明確にバシッと書いてあるような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:33	っていうのはどこにあるのかっていうのを、
2:03:38	ちょっと教えていただきたいのとそれを、あるのであればさっきの表に反映をしていただきたいんですけどまず今わかるのであれば教えていただきたいんですが。
2:03:47	どこでしょうか。
2:03:50	国税の坪井です。
2:03:52	ページで言いますと 400。
2:03:54	70 ページがそのページにありまして、
2:03:57	サポートメインのところですけども、
2:03:59	ダンス炉注に分布する粘土鉱物イライトスメクタイト混合層には、明瞭な場面や引きずり等の変形が認められると。
2:04:06	いう形で書いておりまして、
2:04:09	461 ページ。
2:04:11	のところでここからの、
2:04:15	回避解釈といいますか、こっからの、
2:04:19	記載を、この結果をもって、461 ページの粘土鉱物イライトスメクタイト混合層に変位を与えていると。
2:04:26	いうふうに書いて、
2:04:28	おりました。おります。
2:04:30	470 ページがその辺、対応するページになります。以上です。
2:04:37	はい。
2:04:39	カイダです。
2:04:41	と、今 470 ページに書いてあるのは複合面構造があります。
2:04:47	それは 461 ページで、
2:04:50	別途欄があって、
2:04:52	弱い面の直線性があります。
2:04:55	ていうのは、
2:04:58	これはそういう状況だと。
2:05:01	引きずり。
2:05:02	等の変形が認められます。
2:05:06	ていうのと、その変質鉱物との関係っていうのはこの、
2:05:11	明瞭な Y 面や引きずり等の変形が認められるという、そこを指しているということでしょうか。
2:05:22	中部電力スモリです。はいその通りでございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:29	はい、カイダです。
2:05:30	少なくともですね 407、61 ページには変位変形があるなみたいなことはちゃんと書いてあるので、
2:05:38	本当にそうであれば、しょうがそういうふうにちゃんと書いていただいてそれがわかるようなここですけれどもちょっと。
2:05:46	大きく示すとか、
2:05:50	していただかないと、
2:05:52	結局
2:05:54	敷地内の破砕体の鉱物脈がここを横断してますとか、
2:06:00	不明瞭にしていますっていうな、もっと細かく見て、
2:06:03	これですみたいなところがあったりするんですけれども。
2:06:08	今回この、
2:06:10	福浦断層の方はどっちかっていうところ全体を概観してこうですっていうところはわかるんですが、
2:06:16	やっぱりここに変位がありますとか、変形がありますっていうのは、変形っていうのは、引きずりって意味なんでしょうけれども。
2:06:24	そこは違うんですよっていうのを主張するんであればちゃんとこの辺ですとか、
2:06:30	言葉でも、言葉でも、仲野。
2:06:35	表ん図の表記とか、
2:06:38	矢印で示すとかそういったところでわかるようにしていただきたいんですね。
2:06:42	そこの点いかがでしょうか。
2:06:47	北陸電力スモリです。
2:06:49	患者さんご証券承知いたしました。例えば 467 ページですと E P M A 分析で本当にピンポイントで、イライトスメクタイト混合層が分布していると。
2:07:01	そういうことも確認した上で、今ほどの 470 ページに戻っていただくと、ほぼ同じ位置で、
2:07:07	いろんな複合面構造や概念が見えると。
2:07:10	こういったところでプラスで、さらに拡大した観察結果等もおつけしまして、敷地内断層との、
2:07:15	比較というところで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:17	こちらについては明らかにイライトスメクタイト混合層に変形を与えていると、こういった観察結果をお示しでき、
2:07:24	ちょっと考えておりますので、そういったページをまた追加して整理させていただこうと思います。以上です。
2:07:32	はい。カイダです。じゃ、その点よろしくお願いします。
2:07:36	それと後、何ヶ所かですねここはもうちょっと詳しくっていうところを申し上げたいので、よろしくお願ひしたいんですが477ページ。
2:07:46	うん。
2:07:49	なんですが、
2:07:51	これ左側の麻痺上でも下でも下の方がわかりやすいと思うんですが、
2:08:00	真ん中ほどぐらいに日本、日本並んで、緑の矢印がこう書いてあって、上と下にそれが繋がってると思うんですけれども。
2:08:10	その途中って結構、
2:08:14	何て言うんですかね。
2:08:16	粘土鉱物らしきなんかをギラギラした鉱物みたいなのが、左右にこれとこう繋がってるようにも見えたりもしてるんですけれども。
2:08:27	これこのさ、この写真で見える限り、出しこのサイズだと思うす。ちょっとそういう、よくそこの部分がわからないので、
2:08:36	この辺りとかもうちょっと大きくしていただいて、
2:08:40	やっぱりここは脈が横断してるんじゃないっていうのはちょっと、
2:08:44	また別途示していた。
2:08:47	よろしいですか。
2:08:51	北陸電力スモリです。承知いたしました。この部分につきましては拡大したものをおつけしたいと思います。
2:08:57	またこの露頭の観察結果のものにつきましては、
2:09:03	いわゆる地表での鉄の沈着ですとか、風化の影響というところで、非常にわかりづらくなっているところもございましてそういったところで、
2:09:14	イライトスメクタイト混合層での比較ができないという、先ほどご説明したのは、そういった点もありますけれども、そういったところも解釈も含めてできるのであれば、ここはこういうふうを考えているというようなところも含めて、もう少し丁寧に、
2:09:26	ご説明させていただきたいと思います。以上です。
2:09:29	はい、わかりました。じゃ、よろしくお願ひいたします。
2:09:32	同じページの、477ページ以降、下の方に二つ四角で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:38	真ん中の写真でいくと、
2:09:40	黄色い拡大位置が二つ、真ん中の辺りと、一番下に、
2:09:45	あります。
2:09:47	で、ちょっと先ほどちょっと話の出た有識者会合のときの資料を見ると、これ一番上の部分を拡大して、いやここには複合面構造がこういうのがありますみたいな。
2:09:58	説明をされてたので、
2:10:01	そこが一番複合面構造とか特徴的に見える場所なのかなと思ってたんですけど、今回この下の方が出てきてる。
2:10:09	ということで、
2:10:10	同じように、上の部分のところも出していただいて、複合面構造とかの説明と、あと
2:10:18	脈が横断してないんであれば、そういったことも含めて説明をいただきたい。
2:10:24	よろしくお願いします。
2:10:28	はい、北陸電力スモリです。
2:10:29	そうですね社会行事とまた別な地点で、
2:10:34	さらにわかる、
2:10:36	以前お示ししていたところしかわからないわけではなくて、他のところでも同じように見えているところがあるので、よりわかりやすいかなというところを、今回新たにお示ししたんですけども、以前お示したところも、
2:10:48	変わらず、そういう複合面構造の観察結果もちろんでするので、こちらも含めて、改めて提示させていただこうと思います。以上です。
2:10:56	はい。
2:10:57	規制庁の甲斐です。よろしくお願いします。
2:11:00	あともう一つ
2:11:02	福浦との比較で同じような観点で480ページですね。
2:11:08	480ページのこの、
2:11:10	三本、緑の矢印が上から下にあるんですけど、一番左側。
2:11:17	これやっぱり、シュート上の方から見ていくと、
2:11:21	真ん中よりちょっと下ぐらいで、
2:11:24	左右をこう白っぽいところっていうのは、左右横断してるようにも、
2:11:29	見えたりもしてますし、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:31	この辺りも、
2:11:33	脈が横断してるんじゃないくて、
2:11:35	ていうところがを拡大して示せるのであれば、示しておいていただきたいのでよろしくお願いします。
2:11:45	連絡スモリです。はい、承知いたしました。
2:11:48	はい。じゃ、とりあえず、この件は以上で、よろしくお願いします。
2:11:54	それで私の方から
2:11:59	さっきもちょっと出たんですけどS2S6の話で、
2:12:04	530
2:12:07	これ繰り返しになるかもしれないんですが、
2:12:10	532 ページとか以降で、今回、傾斜方向を整理しましたと。
2:12:18	いうことで、
2:12:20	これは現地で、
2:12:24	現地だったかな、コメントしたことに対して断層の位置と、
2:12:29	見て近くと離れたところでどうかっていうところ。
2:12:33	検討というところでは、
2:12:36	されてるんですけども。
2:12:38	結局じゃどうなのかっていうのがこの最後のところがよくわからないので、
2:12:43	おそらく、SES6の全体の、
2:12:48	これは活動性なしなんだっていうところは、
2:12:52	これ以外にも、先ほどちょっと
2:12:56	ご説明あったんですけど別のところでボーリングの測線いっぱい掘りましたとか、
2:13:00	あと、深いところと言えば、反射法とか、そういったものも使って、下の深いところが動いてないとか、
2:13:08	そういったところもあわせて説明になるんかと思うんですけど。
2:13:12	まずはこの、
2:13:13	地層が山側に傾斜してないんだっていうところも、これも否定するっていうことであれば、
2:13:19	ちょっとここでちょっと尻切れトンボのような形にするんじゃないくて、山側の経路者ってというのは、
2:13:25	こういった観点でもこういった観点でもこういった観点でも、ありませんと説明。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:30	されるのであればしていただきたいと。
2:13:34	思うので、
2:13:36	そこはよろしいですか。
2:13:41	はい。北陸電力の神田です。
2:13:43	生息の、層理の傾斜につきまして、
2:13:48	仮にこれが断層で変形であれば、どういうふうに、傾斜が見えるはずだけど、そうはなっていないということで、変形は認められないというような、
2:13:59	ことを、こちらの、
2:14:01	方にも、我々の持っている評価を、こちらの方にしっかりと記載したいと思います。以上です。
2:14:12	はい。規制庁のカイダです。
2:14:14	そういった検討結果をお願いしたいのと、あともう一つ確認なんですが、
2:14:20	これいろいろ 532 ページでたくさん、
2:14:24	測定ポイントっていうのがあります。
2:14:28	これっていうのは、
2:14:31	確か有識者会合のときの最後の頃にもう、
2:14:35	色分けにした、ある程度ここ、こういったシュミットネットを示していたのが出てたかと思えますし、
2:14:43	審査会合、医師、適合性審査に入ってから、
2:14:48	同じようなのが、
2:14:50	ここで測りましたっていうのが出てたと思うんですけど。
2:14:53	そこから、追加されたんですか。これは
2:14:57	測定ポイント自体はそのままなんですか。いかがですか。
2:15:04	北陸電力の木村です。
2:15:06	こちらの層理の傾斜の測定ポイントにつきましては、勇者会合時から追加はしておりません。
2:15:17	そのデータを今回整理して、どういうふうに見えるかということ、
2:15:25	グラフ等で見える化したという。
2:15:28	たものでございます。以上。
2:15:32	はい。規制庁のカイダです。
2:15:34	では

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:36	そうであれば先ほどの話とも関連するんですけど、一応有識者の会合では、
2:15:43	このシュミットネット、今この場所ごとに分けてなくても、
2:15:47	ある地層ごとに分けたやつで、整理したシュミットネットん。
2:15:53	を確認した上でも、
2:15:55	山側にへの傾斜が、
2:15:58	あるかもってというような、そういった何かお話で、
2:16:02	だったと思うんですね。
2:16:06	なのでちょっと
2:16:07	結局同じように測定ポイントを同じような測定ポイントで、
2:16:14	シュミットネットの
2:16:16	見せ方というか、そういったのが変わってはいるけれども、
2:16:20	基本同じデータに基づいてるっていうこと。
2:16:23	かなと思うんです。
2:16:25	この辺りは、
2:16:28	例えばほかに、
2:16:30	全体的に山側に傾斜してないとかっていうのを示すのであればこのシュミットネットじゃなくて、
2:16:37	例えば
2:16:39	当然ばらつきがあるのは当然なんですけども、
2:16:43	北と南である地層が繋がるのであればそれ1枚の板として見たときに、
2:16:49	やっぱそれはどうなんだとかっていう。
2:16:51	ような検討とか、山側に傾斜してるのかそれとも今、南側に傾斜してるって話だったと思うんですけども。
2:16:58	そこは実際そうなんですか。北と南をつないで見た時も南側に傾斜してるってのが、
2:17:04	いえるっていうのであればそういったふうな説明も、
2:17:07	あっていいかと思うんですけども。
2:17:10	そこはいかがですか。
2:17:15	北陸電力木村です。北と南のすべてのデータを見てみますと、全体的には南側傾斜が卓越していると。
2:17:26	いうことは、見て取れますので、
2:17:29	そういった記載も追加したいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:17:37	それから言う社会用地等これ、同じデータを用いているんですけども、今回、それを、この断層からの距離、
2:17:44	との関係を、
2:17:46	示すために、距離、
2:17:49	断層からの距離、
2:17:52	ごとに分けて
2:17:54	断層群による影響があるかどうかということ、
2:17:59	見るために、示したものでございますので、データ自体は、
2:18:03	自社開放時のものですが、入射開放時は、断層からの距離というデータはありませんでしたので、それは追加しております。
2:18:12	以上補足でした。以上です。
2:18:16	はい。規制庁甲斐です。今、最後おっしゃったってそれは十分こちらの方も認識してまして、
2:18:22	当時は、
2:18:23	市、下から2層か3層ぐらいあって、その地層ごとにまとめてっていう形。
2:18:30	結局は、あの時は、全体として山に傾いてるっていうな、
2:18:34	議論だったんでそういう見せ方だったと思うんですけど、今回、
2:18:38	断層との、
2:18:40	関係でどうかっていうことで、
2:18:41	こういう整理をされてるとい、そこは
2:18:45	十分認識してますので、
2:18:48	結局そういったデータを使った上で、
2:18:51	結論として南が、山側に傾斜がないんだっていうところは、
2:18:57	うん。
2:18:58	どういうふうに説明されるかっていうところで、
2:19:02	またこの辺りは、
2:19:04	今、データを示したところで終わってるんですけども、そこは最終的にこういう評価なんだというところまで説明をしておいていただきたいのでよろしくお願いします。
2:19:22	奥井連絡キムラ s 承知いたしました。
2:19:31	規制庁谷です。
2:19:34	大城委員。
2:19:41	規制庁谷です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:44	何点か確認をしたいんですけども 29 ページなんですけど。
2:19:49	これ、
2:19:51	今更なんですけど花崗岩の上面をこれボーリングで押さえてるんですけども、これって何かエビデンス。
2:19:59	もう出てるんですけど例えば柱状図だとか、これはスポットコアで撮ってるのかとか、そういったデータが、ちょっと私どこどこに載ってたかわかんないんですけど、今までもデータ出てますか出てませんか。
2:20:19	北陸電力木村です。こちら、大深度ボーリング A D の 8.6 項っていうもので、花崗岩の上面を確認しておるんですけども。
2:20:29	こちらの柱状図。
2:20:32	につきましては、これまで、
2:20:35	審査で、
2:20:37	今示しておりませんでしたので、次回、お示ししたいと思います。以上です。
2:20:42	はい。お願いします。あとはですねこの 2930 とこの断面見てて、多分福浦断層範囲外なんですかね。S 26 だとか S G だとかそういうところはどこに来るのかなっていうのが、
2:20:56	今見てわかんなくってもしそういったのも見せるんだったら、見せていただきたいなというところなんです。続けて確認ですけども。
2:21:06	9 ページに、
2:21:08	S 4 の 35 メーター一番トレンチっていうのを追加掘削でやってるんですけどこれって、
2:21:13	新しく出してるのが真北面っていうのを出してるわけですけども、例えば新理事面だとか、
2:21:21	そういったスケッチはないのかとか、あと何か掘削する、途中段階のデータとかっていうのは、ないのかとかいうのをちょっと確認させてください。
2:21:36	北陸電力木村です。
2:21:40	掘削。
2:21:41	追加掘削の部分のスケッチ全体を、548 ページの方に、
2:21:48	示しております、
2:21:52	548 ページが、スケッチの展開図。
2:21:57	新北面が、真北面の拡大写真を、
2:22:03	549 と、550 ページ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:06	新西面の拡大写真を 551 頭、552 ページの方に、
2:22:14	示しております。それで、これ、途中の段階の、
2:22:18	記録とかはないのかということですけども、こちらについては、
2:22:25	いっぺんにこれだけ掘削しましたので、途中の記録は取っておりませ ん。
2:22:32	はい。以上です。
2:22:35	規制庁丹治ですわかりました。だから新西面はあれですね使えない具デ ータはあるけど、
2:22:43	使えないってことですか新西面は。
2:22:46	はい、わかりました。
2:22:49	あと最後 1 点なんですけれども、何ページだったかな。
2:22:54	89 ページ。
2:22:58	これ能登半島の地質構造に関する既往知見との関係ってということで、何 か三つほど知見出してきて、
2:23:06	ある時代は、急激な人口ある時代は急激な隆起なんだといったことを書 かれていたというのはわかったんですけども。
2:23:18	例えばこれ、何か我々会合で言ってんの。は、
2:23:22	結構 800 メーターとか大きな隆起量を、
2:23:26	が出てるってようなことを、があるんですよここ、御社の説明に よると、そういった何て言うかなんて、何ていうんすかね好漁の観点か らは何か。
2:23:40	知見っていうのはなかったんですかこう、800 メーターだとか。1000 メーターだとかそういう交流機がこの時代に起こっているといったもの は、特に、
2:23:49	データ集めれなかったということですか。
2:23:58	北陸電力の小林です。
2:24:00	同僚の観点ということですが、今、89 ページに御接している文献の中 で、
2:24:08	表がありまして、矢田木内 2010、
2:24:11	という文献見ていただきますと、その中で、堆積盆形成期に、堀栗城地 域では、3000 メートルに達する急激な人口があったと。
2:24:23	また
2:24:25	3 ポツ目ですね、中でも担当。
2:24:28	途中工事に挟まれた、加川尾山早野。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:32	1000、新生会基盤診断少なくとも、
2:24:35	2000 から 3000 メートルであるというようなことで、一応 1000 メートルオーダーの人口は、
2:24:41	起こっていたと、いうことは、今日知見の中では確認しております。
2:24:46	以上です。
2:24:48	規制庁谷です。確かに人口の方は入ってるんですけど利益の方には、特にないんですか。
2:24:58	はい。北陸電力の小林です。
2:25:00	結城に関しましては、
2:25:03	確かにちょっと今の、
2:25:04	まとめさせていただいているところではないんですが、ちゃんと開成段丘面、非常に発達しておりますので、そういった観点から、
2:25:16	そうですね。
2:25:17	100 メーターに認めた大田の隆起に関しては少なくとも、起こっているということは、一応確認の方はしているという状況になります。
2:25:29	以上です。
2:25:32	規制庁タニすま事実関係確認できました。そういったのも、何か説明できるんだったら資料にさせていただけたらなと思いますけどその辺おまかせします。ありがとうございました。
2:26:24	はい。
2:26:26	規制庁のカイダですけれども。
2:26:28	とりあえずですね今日の
2:26:31	確認したいと、こちらからですね確認をしたいと思ってるところとあと
2:26:37	こういったデータが必要だということにつきましては、今ほどまでに申し上げた通りなんですけれども。
2:26:46	そちらの事業者の方から何か確認しておくこととかあるでしょうか。
2:26:58	北陸電力の藤田です。
2:27:00	はい。確認ありがとうございました。こちらの方から個別で確認事項はございません。
2:27:08	いただいた今日の中身に確認してですね、資料の方を少し修正して、
2:27:14	また確認の方お願いしたいと思います。以上です。
2:27:19	はい。規制庁のカイダです。
2:27:21	わかりました。先ほど来ですね、こちらの方から、
2:27:25	申し上げた事項につきまして、資料、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:29	更新していただいて、またできたら。
2:27:33	ご連絡いただいたら
2:27:35	確認という形でいきたいと思いますので、
2:27:39	知久お願いいたします。
2:27:41	それではですね。
2:27:43	本日のヒアリングは終了したい。
2:27:46	したいと思いますので、
2:27:48	本日、どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。
2:27:53	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。